

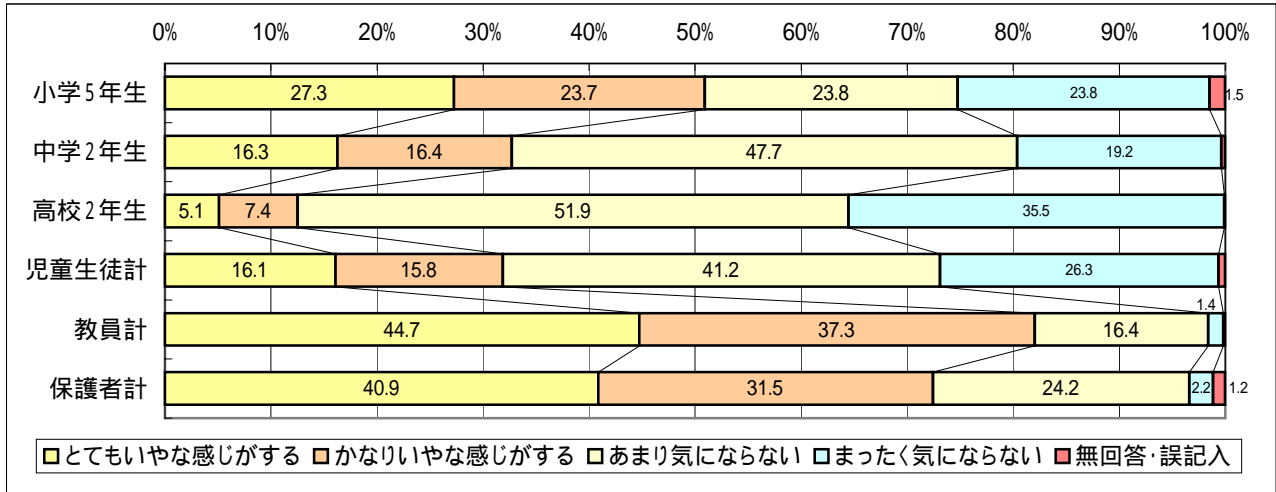
規範意識

1. 友だちの行為に対する感じ方 【小学5年生...問18】 【中学2年生...問18】 【高校2年生...問18】 【教員...問11】 【保護者...問18】

友だちが(児童生徒や子供さんの友だちが)次のようなことをしていたら、あなたはどう思いますか。それぞれあてはまるものを一つ選んで番号を教えてください。

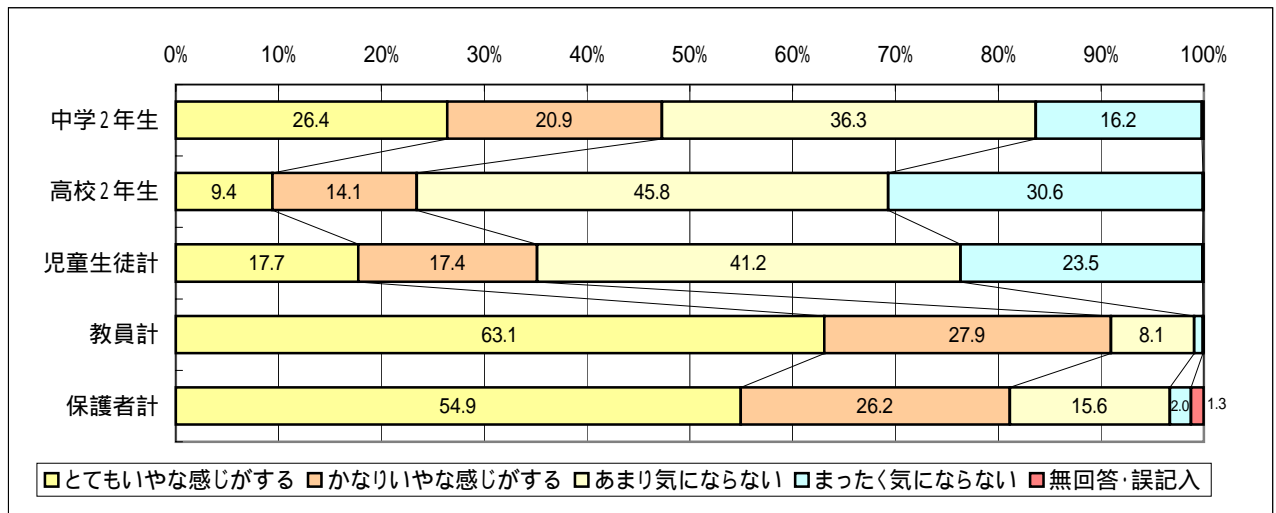
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 とてもいやな感じがする | 2 かなりいやな感じがする |
| 3 あまり気にならない | 4 まったく気にならない |

髪を染めている



「とてもいやな感じがする」+「かなりいやな感じがする」でみると、小学5年生51.0%，中学2年生32.7%，高校2年生12.5%で学年が上がるにつれて約20ポイントずつ減少する。小学校教員と中学校教員・高校教員では約25ポイントの差がある(小学校教員67.0%，中学校教員93.3%，高校教員91.7%)。保護者間では大きな差はない(小学生保護者68.1%，中学生保護者78.0%，高校生保護者71.2%)。大人の意識と子どもの意識の差が歴然としている。

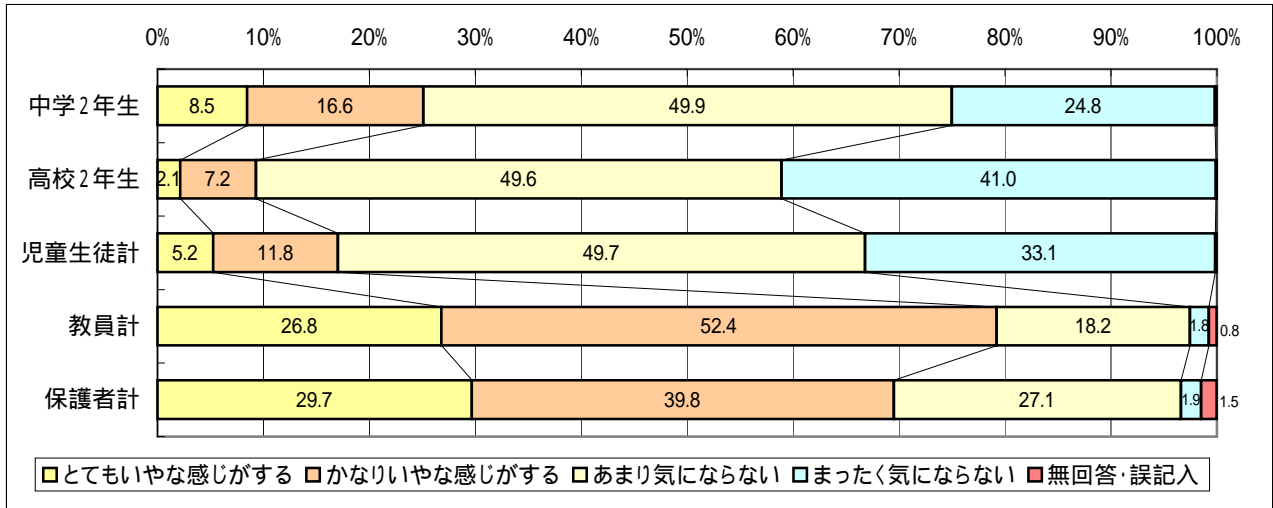
ピアスをしている(小学5年生は除く)



「とてもいやな感じがする」+「かなりいやな感じがする」でみると、中学2年生が高校2年生より23.8ポイント高い(中学2年生47.3%，高校2年生23.5%)。教員と保護者の差は約10ポイントである(教員91.0%，保護者81.1%)。大人の意識と子どもの意識の差が歴然としている。

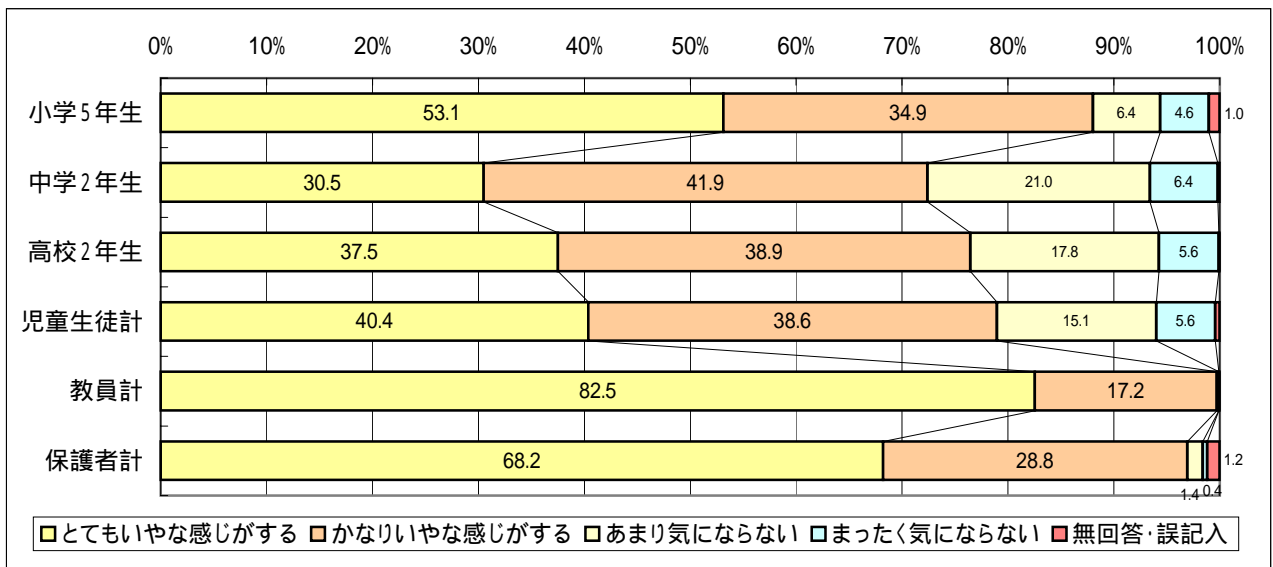
規範意識

ズボンやスカートを決められたとおりにしていない(小学5年生は除く)



「とてもいやな感じがする」+「かなりいやな感じがする」でみると中学2年生は4人に1人以上、高校2年生は約10人に1人の割合である(中学2年生25.1%、高校2年生9.3%)。小学校教員と中学校教員・高校教員の差は25ポイント前後(小学校教員63.8%、中学校教員91.0%、高校教員88.8%)、保護者間ではほとんど差はなく、教員と保護者の差は約10ポイントである(教員79.2%、保護者69.5%)。子どもと大人の差は55ポイントあり、大人の意識と子どもの意識の差が歴然としている。

校庭や廊下にごみを捨てる

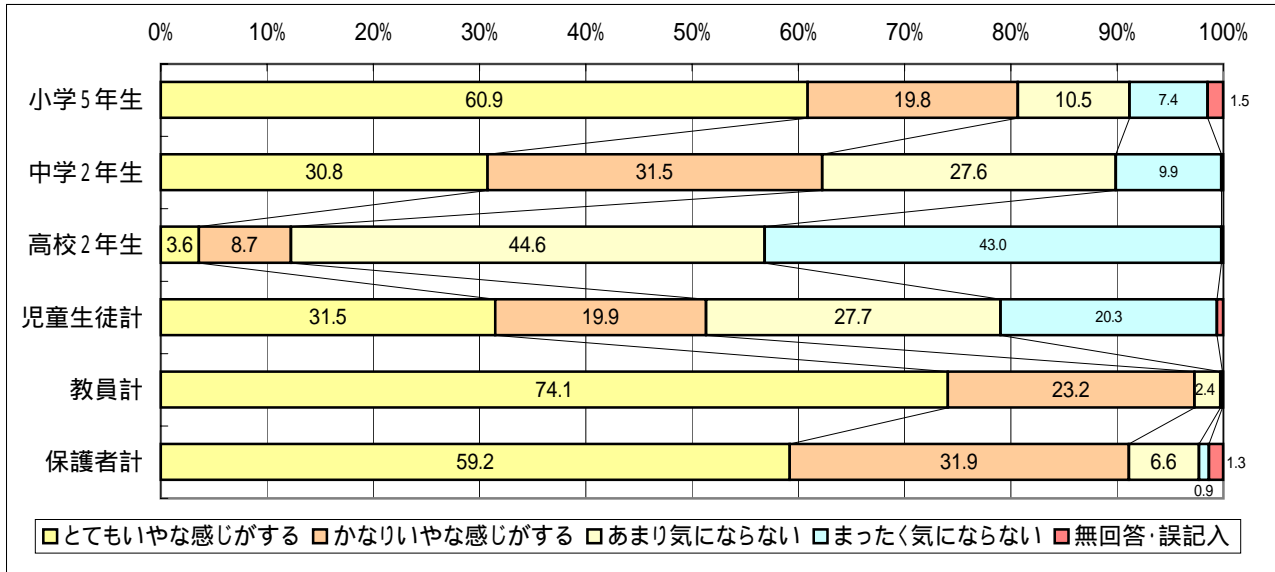


「とてもいやな感じがする」+「かなりいやな感じがする」でみると小学5年生と中学2年生・高校2年生とは11ポイント以上の差(小学5年生88.0%、中学校2年生72.4%、高校2年生76.4%)、子どもと大人の差は18.7ポイント(子ども79.0%、大人97.7%)である。

中学2年生も高校2年生も「あまり気にならない」+「まったく気にならない」の割合が約4人に1人である。

規範意識

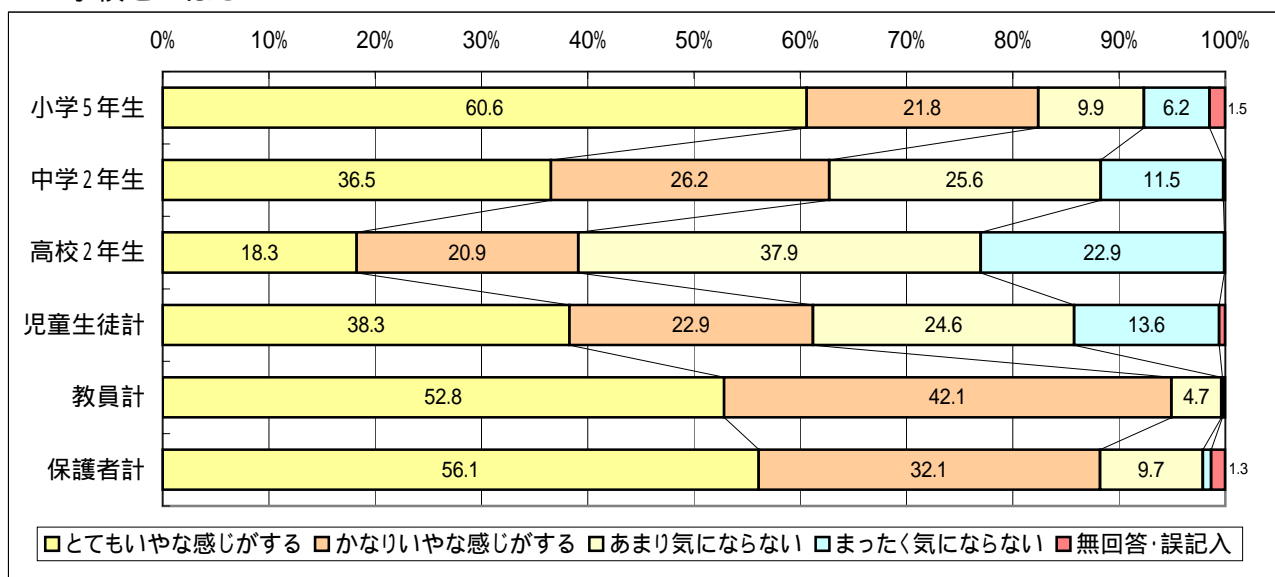
お菓子やガムを学校で食べる



「とてもいやな感じがする」+「かなりいやな感じがする」でみると小学校5年生80.7%，中学校2年生62.3%，高校2年生12.3%と校種間で差が極端である。教員，保護者は9割を越える(教員97.3%，保護者91.1%)。

「とてもいやな感じがする」でみると小学5年生60.9%，中学2年生30.8%に対して高校2年生は3.6%で小学校5年生とは約60ポイント，中学2年生とは約30ポイントの差がある。また，大人でも高校教員，高校生保護者は他校種と比べて問題意識が低く，高校生の結果と関連が見られる。

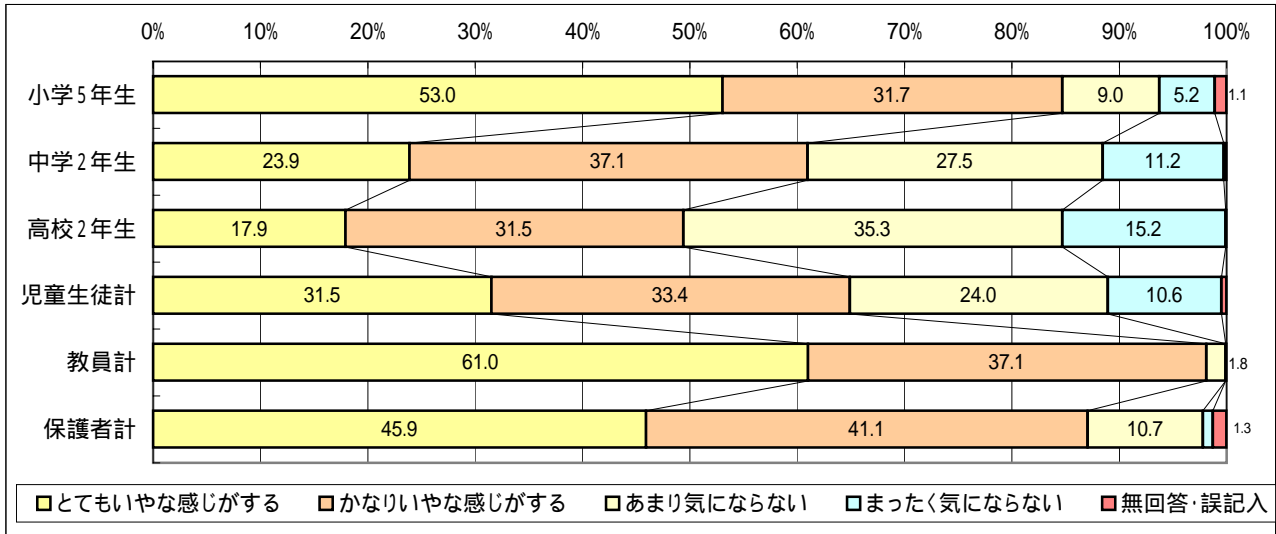
学校をさぼる



「とてもいやな感じがする」+「かなりいやな感じがする」でみると小学5年生82.4%，中学2年生62.7%，高校2年生39.2%と学年が上がるにつれて約20ポイントずつ減少している。子どもと大人の差は28.7ポイント(子ども61.2%，大人89.9%)である。高校2年生では「あまり気にならない」+「まったく気にならない」が約6割に達する。

規範意識

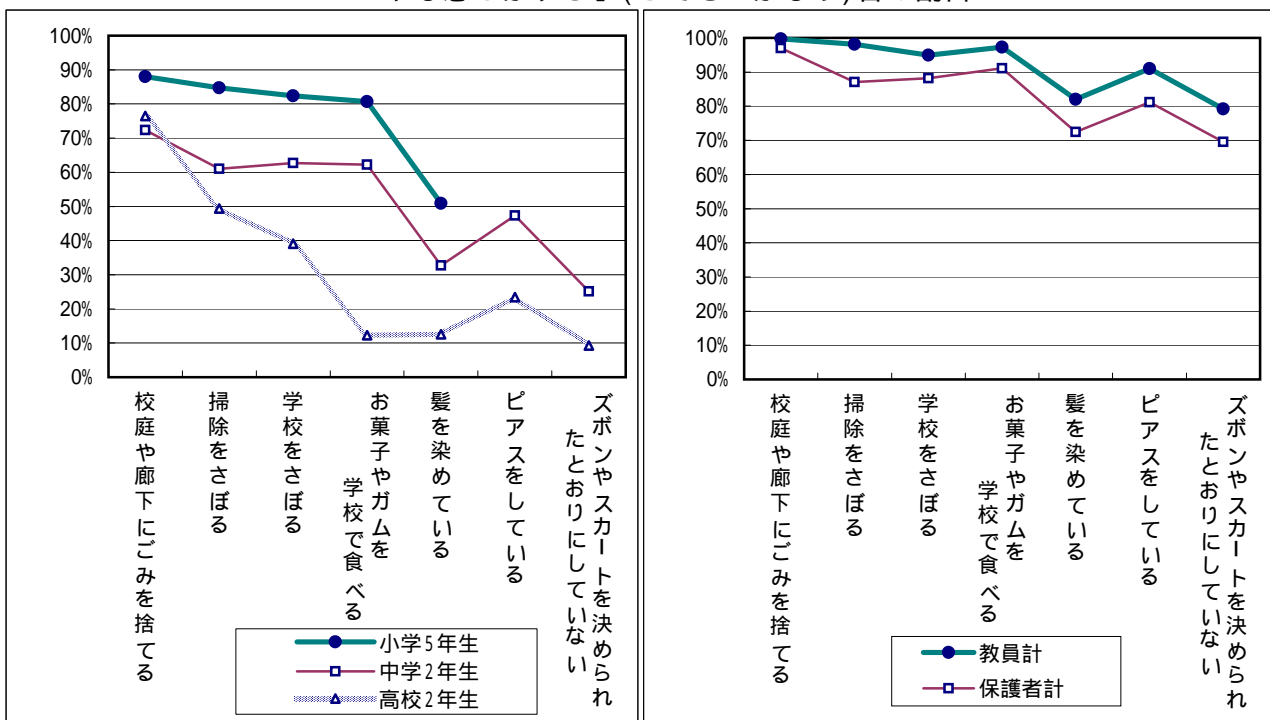
掃除をさぼる



「とてもいやな感じがする」+「かなりいやな感じがする」でみると 学年が上がるにつれて大きく減少している(小学5年生84.7%, 中学2年生61.0%, 高校2年生49.4%)。大人は約9割(教員98.1%, 保護者87%)である。

全体的傾向

「いやな感じがする」(とても+かなり)者の割合

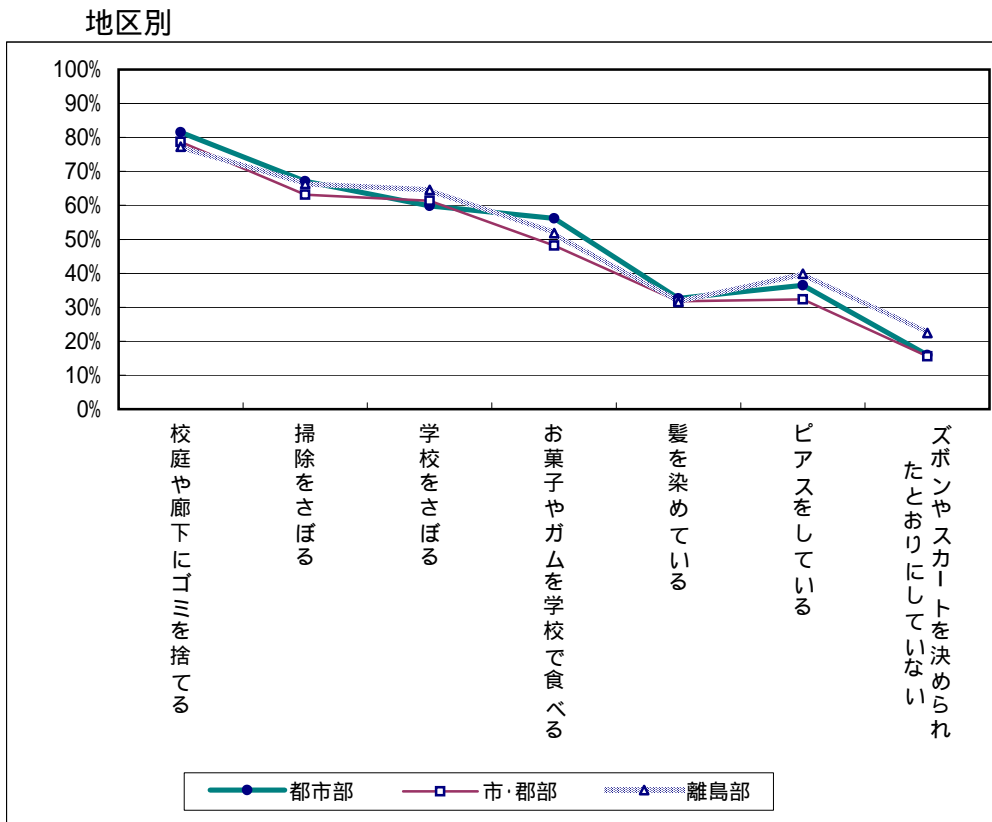


「とてもいやな感じがする」+「かなりいやな感じがする」でみると、児童生徒では、最も多いのが「校庭や廊下にごみを捨てる」(79.0%)で、次いで「掃除をさぼる」(64.9%)、3番目が「学校をさぼる」(61.2%)となっている。教員は、「校庭や廊下にごみを捨てる」(99.7%)、「掃除をさぼる」(98.1%)、「お菓子やガムを学校で食べる」(97.3%)、保護者は、「校庭や廊下にごみを捨てる」(97.0%)、「お菓子やガムを学校で食べる」(91.1%)、「学校をさぼる」(88.2%)の順になっている。

逆に、「あまり気にならない」+「まったく気にならない」でみると、児童生徒、教員、保護者とも共通で、「ズボンやスカートを決められたとおりにしていない」(児童生徒82.8%, 教員20.0%, 保護者29.0%)、「髪を染めている」(児童生徒67.5%, 教員17.8%, 保護者26.4%)、「ピアスをしている」(児童生徒64.7%, 教員8.9%, 保護者17.6%)の順となっている。そして、頭髪・服装に関するこの三つの項目は、子どもと大人との差が大きくなっている。

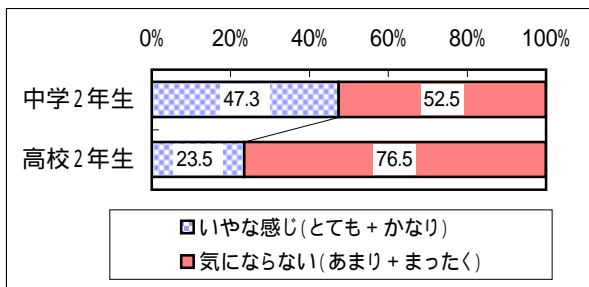
「友だちの行為に対する感じ方」に関する子どもの意識

「いやな感じ」(とても+かなり)と思う者の割合



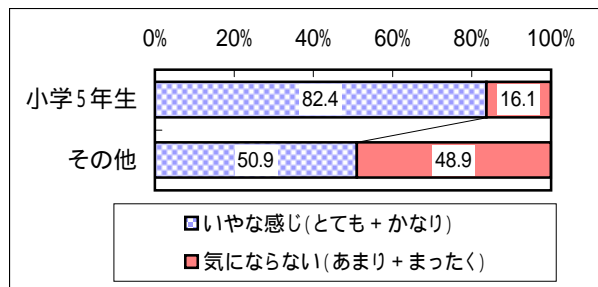
顕著な傾向を示した項目

【ピアスをしている】



中学2年生:n=1074 高校2年生:n=1117 [***]

【学校をさぼる】



小学5年生:n=1070 その他:n=2191 [***]

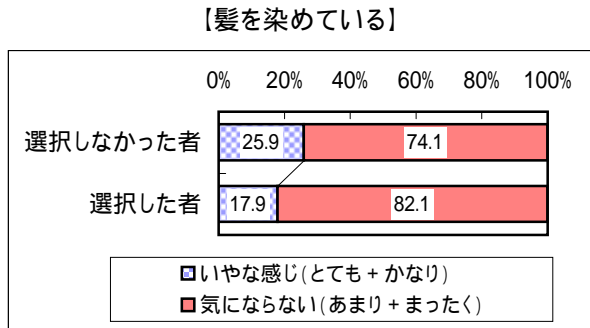
校種の違いでみると小学5年生とその他(中学2年生+高校2年生)では5項目とも有意差があり、小学5年生の方が中学2年生、高校2年生より明らかに規範意識が高い。特に、「お菓子やガムを学校で食べる」の項目で差が顕著である。小学5年生では「とてもいやな感じがする」+「かなりいやな感じがする」が80.7%で、中学2年生では62.3%であるのに対し、高校2年生では12.3%と差が極端である。頭髪・服装の3項目に関して、「いやな感じ」で中学2年生と高校2年生を比較すると、3項目とも有意差が認められ、中学2年生の方が高校2年生より健全な意識をもっている。「校庭や廊下にゴミを捨てる」を除く6項目すべてで、中学2年生の方が高校2年生より「いやな感じ」と答えた割合が高い。

小・中・高と学年が上がるにつれて、規範意識が低くなる傾向にあると言える。

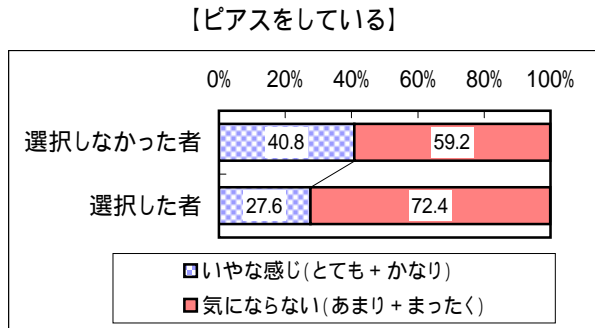
地区別では大きな差異は認められない。

「きまりがきびしい」(学校生活 3 学校生活満足の理由)と頭髪・服装との関係 (中学2年生+高校2年生)

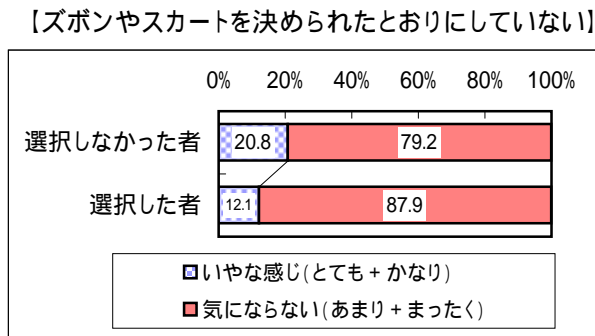
頭髪・服装と、「学校生活不満の理由」の「きまりがきびしい」を選択した群と選択しなかった群に分けクロス集計をした。



選択しなかった者:n=1253 選択した者:n=935【***】



選択しなかった者:n=1254 選択した者:n=936【***】



選択しなかった者:n=1254 選択した者:n=936【***】

「学校のきまりがきびしい」の選択と「髪を染めている」・「ピアスをしている」・「ズボンやスカートを決められたとおりにしていない」とのあいだには有意差が認められる。
 学校のきまりが厳しいと感じていない者(「学校のきまりがきびしい」を選択しなかった者)で「いやな感じ」と回答した者の割合は「ピアスをしている」,「髪を染めている」,「ズボンやスカートを決められたとおりにしていない」の順で、いずれもきまりが厳しいと感じている者より高い。
 全体的には頭髪・服装に関するこの3項目ではあまり不快感は感じていないと言える。

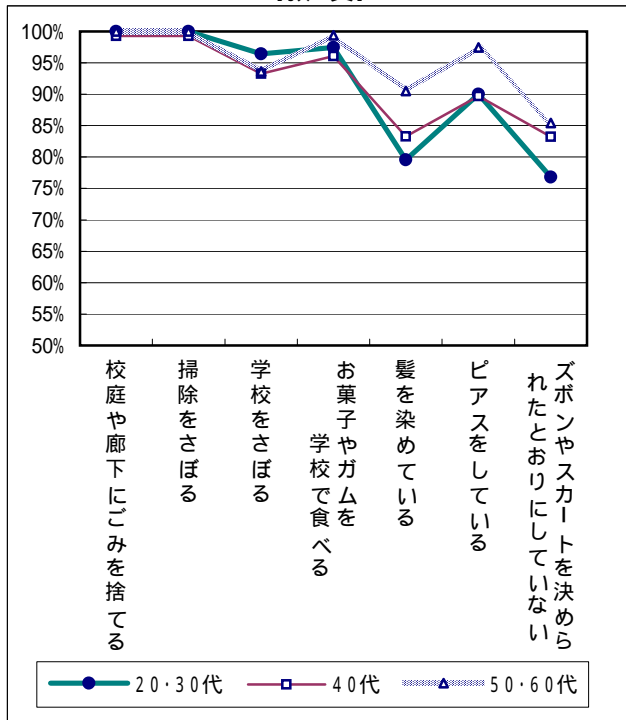
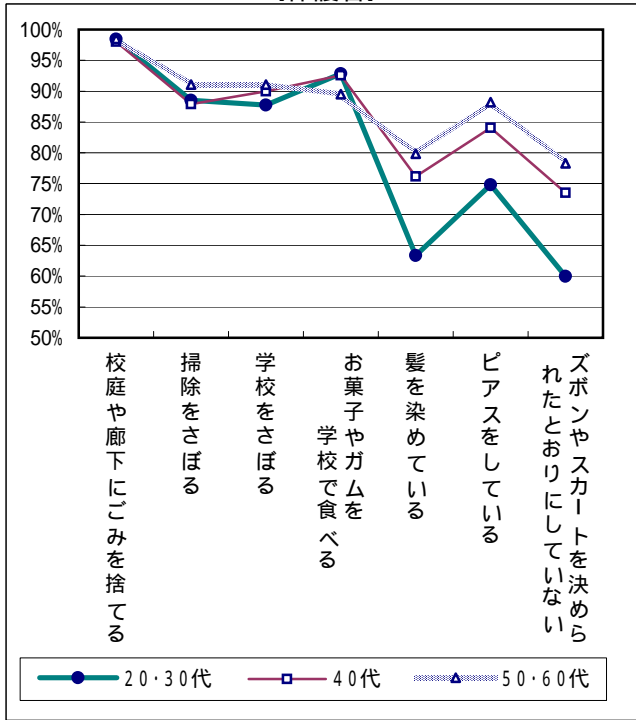
「友だちの行為に対する感じ方」に関する大人の意識

年代別

「いやな感じがする」(とても+かなり)者の割合

【保護者】

【教員】



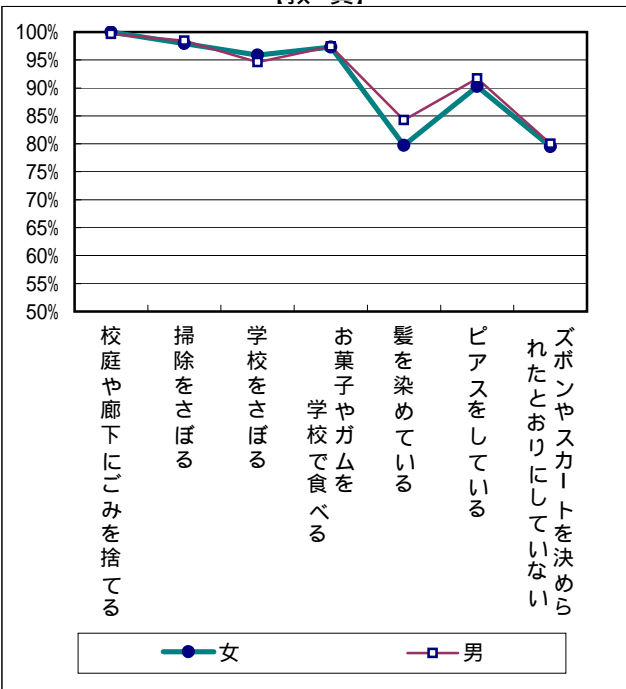
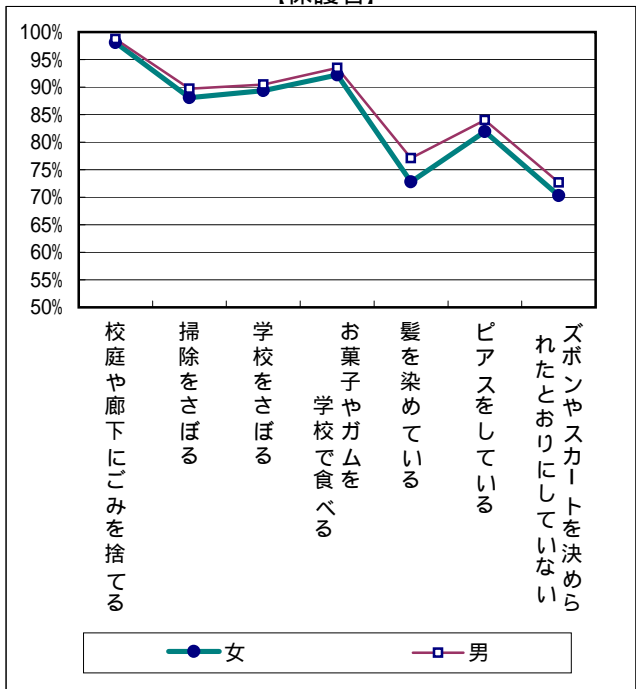
「髪を染めている」「ピアスをしている」「ズボンやスカートを決められたとおりにしていない」の頭髮・服装に関する3項目では、保護者・教員とも年代が上がるにつれて「いやな感じ」の割合が高くなっている。保護者の場合、30代までと40代以上の間で差が大きい。

男女別

「いやな感じがする」(とても+かなり)者の割合

【保護者】

【教員】

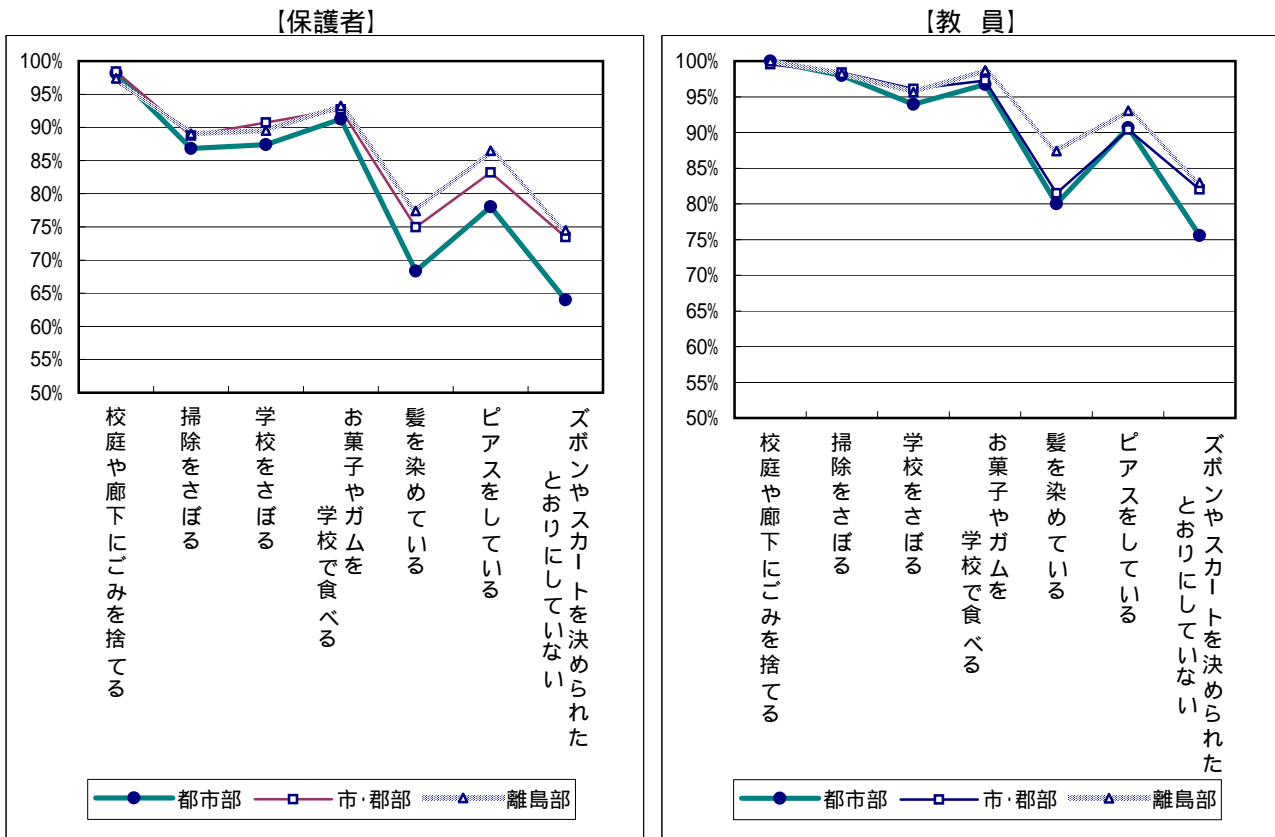


教員・保護者とも性別と「いやな感じ」, 「気にならない」のクロス集計では7項目全部で有意差は認められない。男女の差はほとんど見られない。

規範意識

地区別

「いやな感じがする」(とても + かなり)者の割合

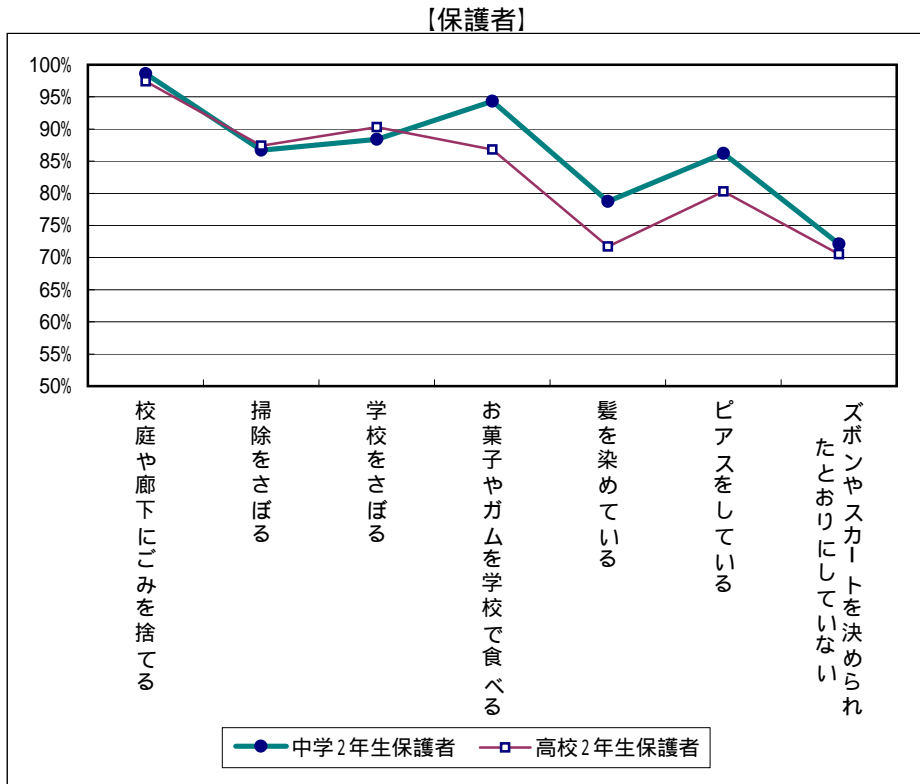


保護者については「髪を染めている」「ピアスをしている」「ズボンやスカートを決められたとおりにしていない」の頭髪・服装に関する3項目では「いやな感じがする」の割合が都市部が最も低く、離島部が最も高い。「ズボンやスカートを決められたとおりにしていない」では都市部と離島部の割合の差は10.5ポイントで全項目中で最も大きい。

教員についても「ズボンやスカートを決められたとおりにしていない」で都市部が他の地域に比べ「いやな感じがする」の割合が低い。

校種別

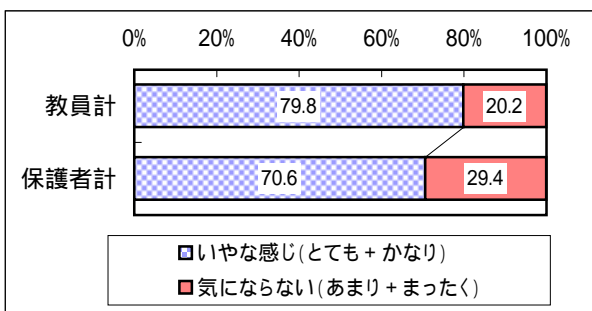
「いやな感じがする」(とても+かなり)と思う者の割合



「お菓子やガムを学校で食べる」と、「髪を染めている」「ピアスをしている」「ズボンやスカートを決められたとおりにしていない」の頭髪・服装に関する「いやな感じがする」の割合では、中学2年生の保護者が、高校2年生の保護者より高い。

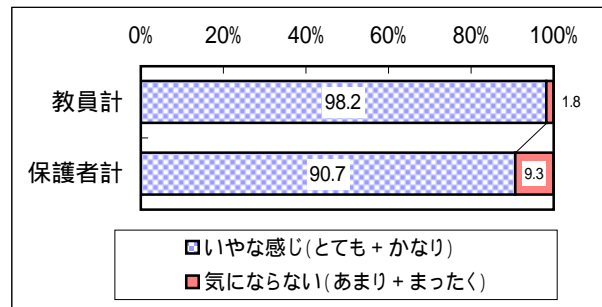
教員・保護者間で顕著な傾向を示した項目

【ズボンやスカートを決められたとおりにしていない】



教員:n=1056 保護者:n=3145 [***]

【掃除をさぼる】



教員:n=1063 保護者:n=3151 [***]

教員・保護者と「いやな感じ」, 「気にならない」のクロス集計では7項目全部で有意差が認められ, 教員の方が全項目で「いやな感じ」の割合が少し高い(全体的傾向の項参照)。

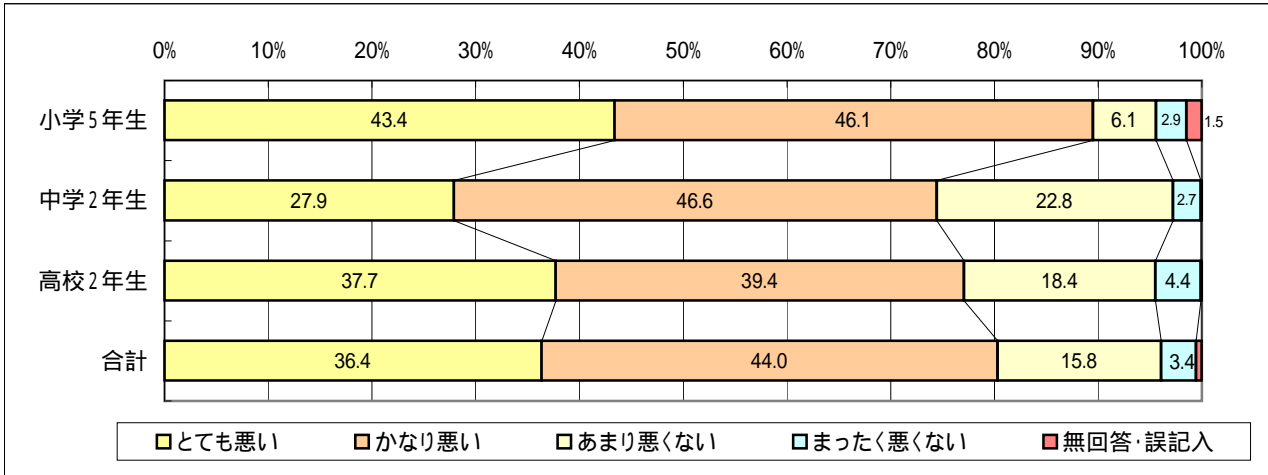
2. 授業中の行為に対する感じ方

【小学5年生...問19】 【中学2年生...問19】 【高校2年生...問19】

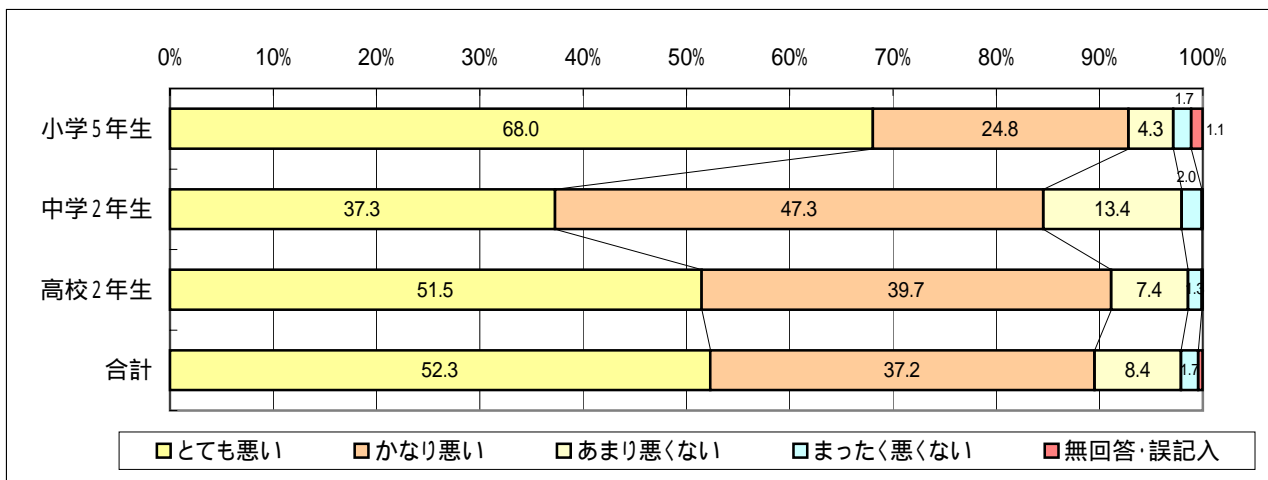
授業中に次のようなことをすることについて、あなたはどのように思いますか。それぞれあてはまるものを一つ選んで番号を教えてください。

1 とても悪い 2 かなり悪い 3 あまり悪くない 4 まったく悪くない

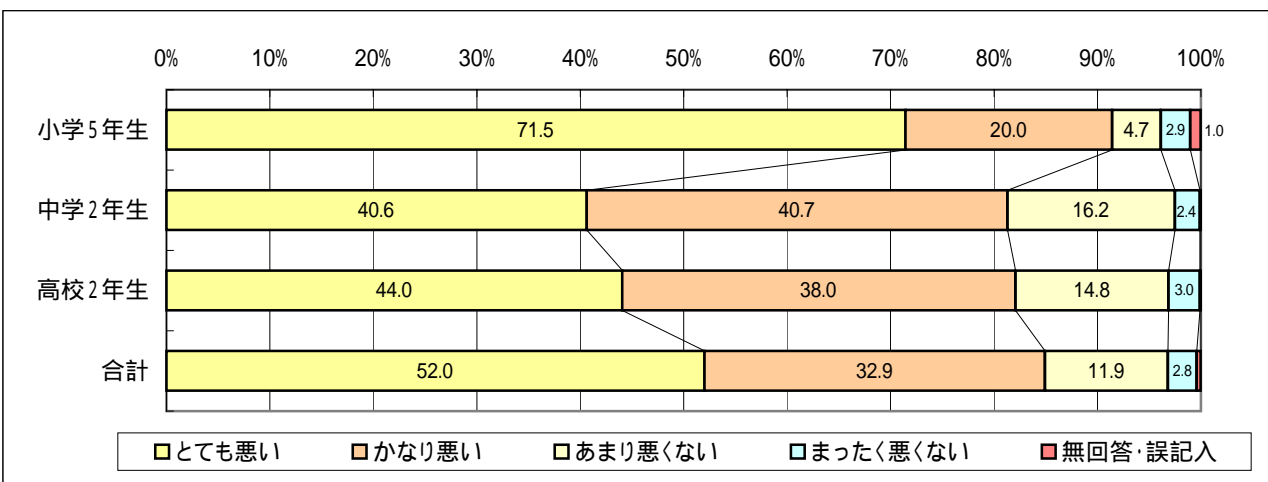
教科書やノートを出さない



注意されてもおしゃべりをやめない

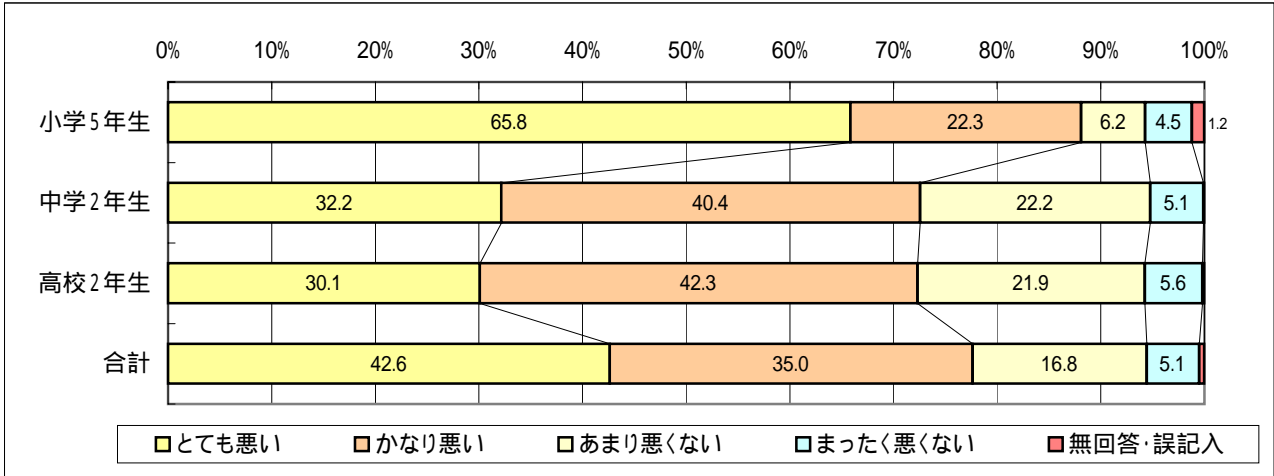


友だちの発言を笑ったりなじったりする

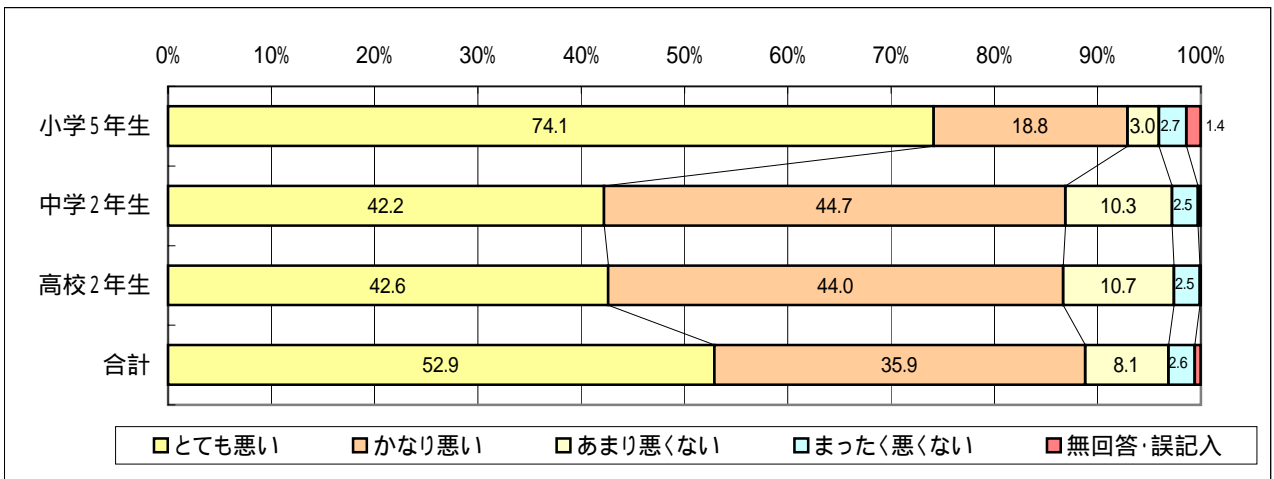


規範意識

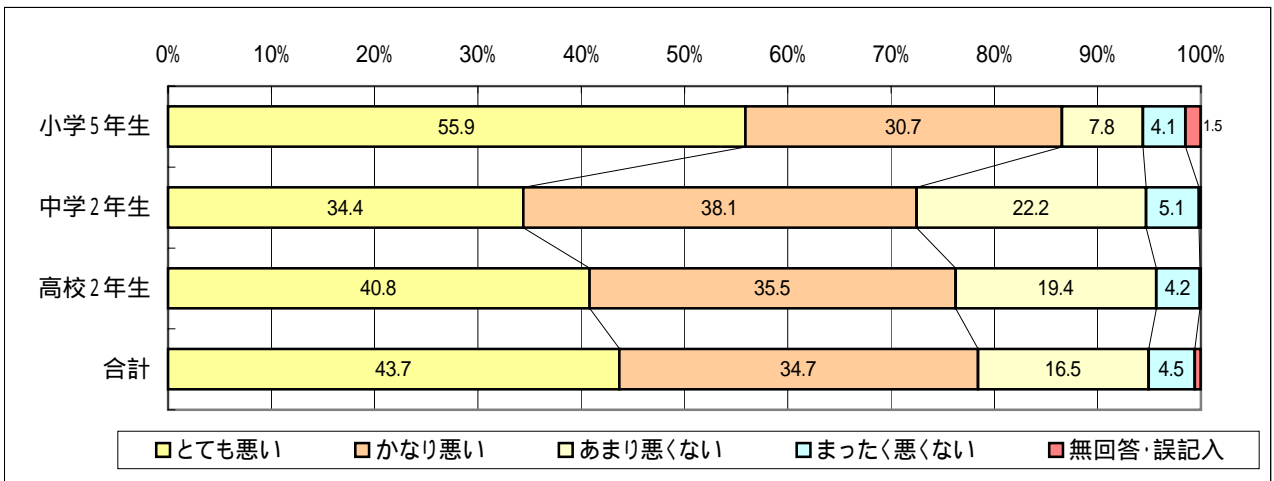
先生の注意に反抗する



先生の指示や質問を無視する

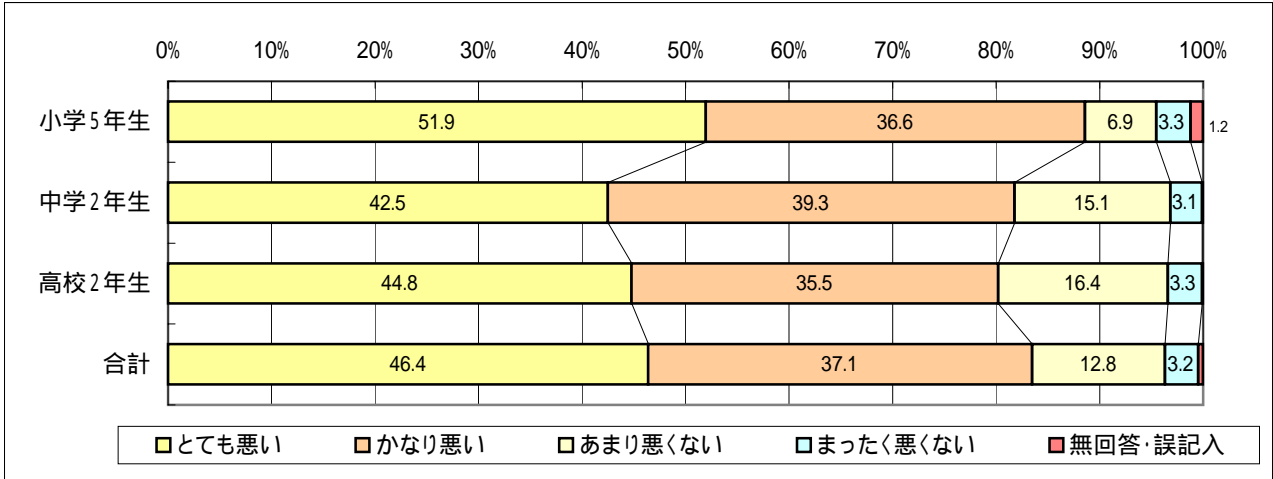


教室内を立ち歩く

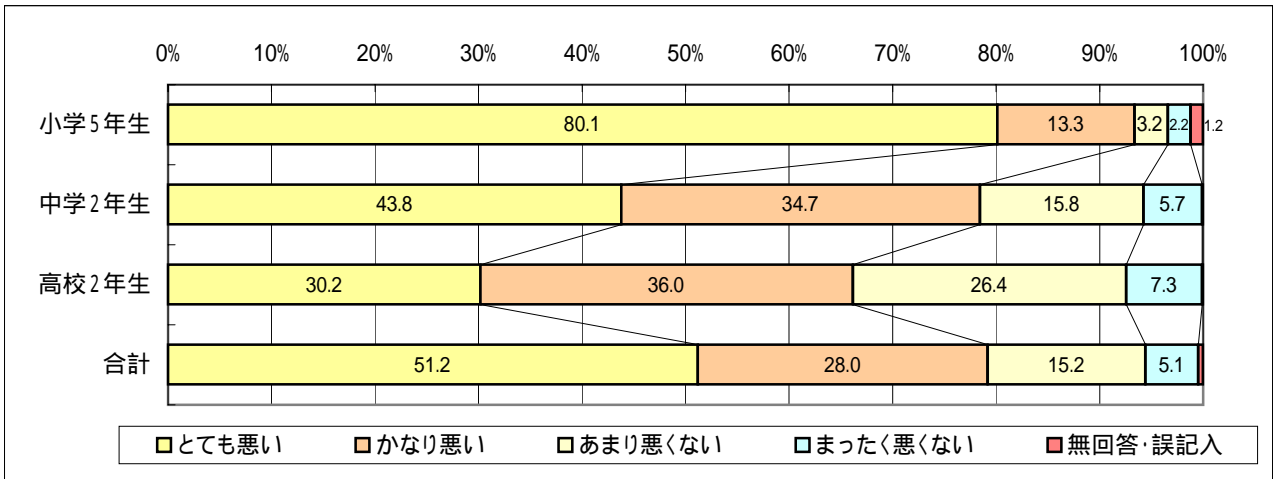


規範意識

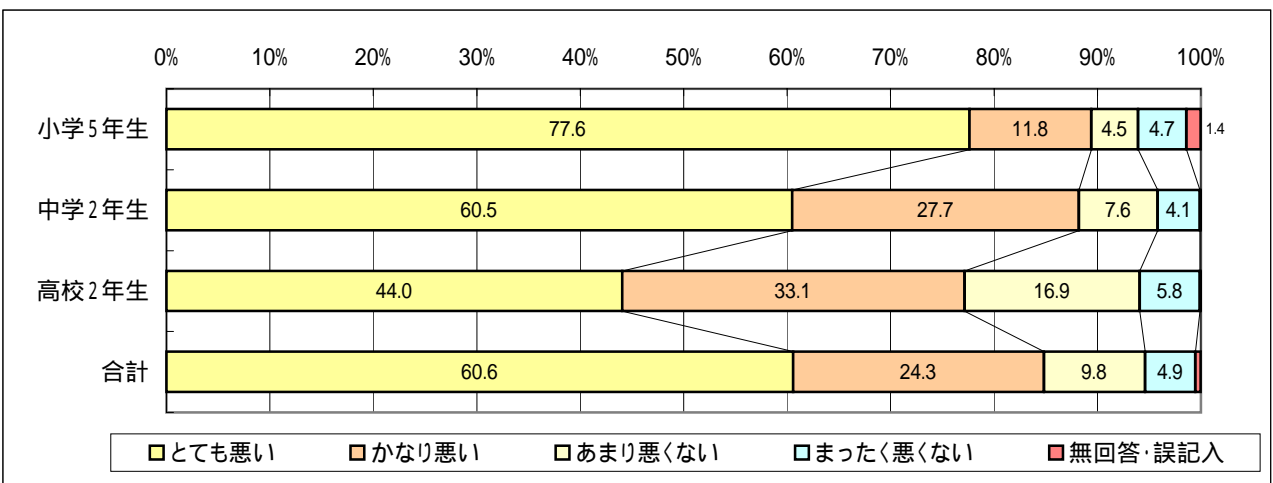
無断でトイレに行く



マンガや小説などを読む

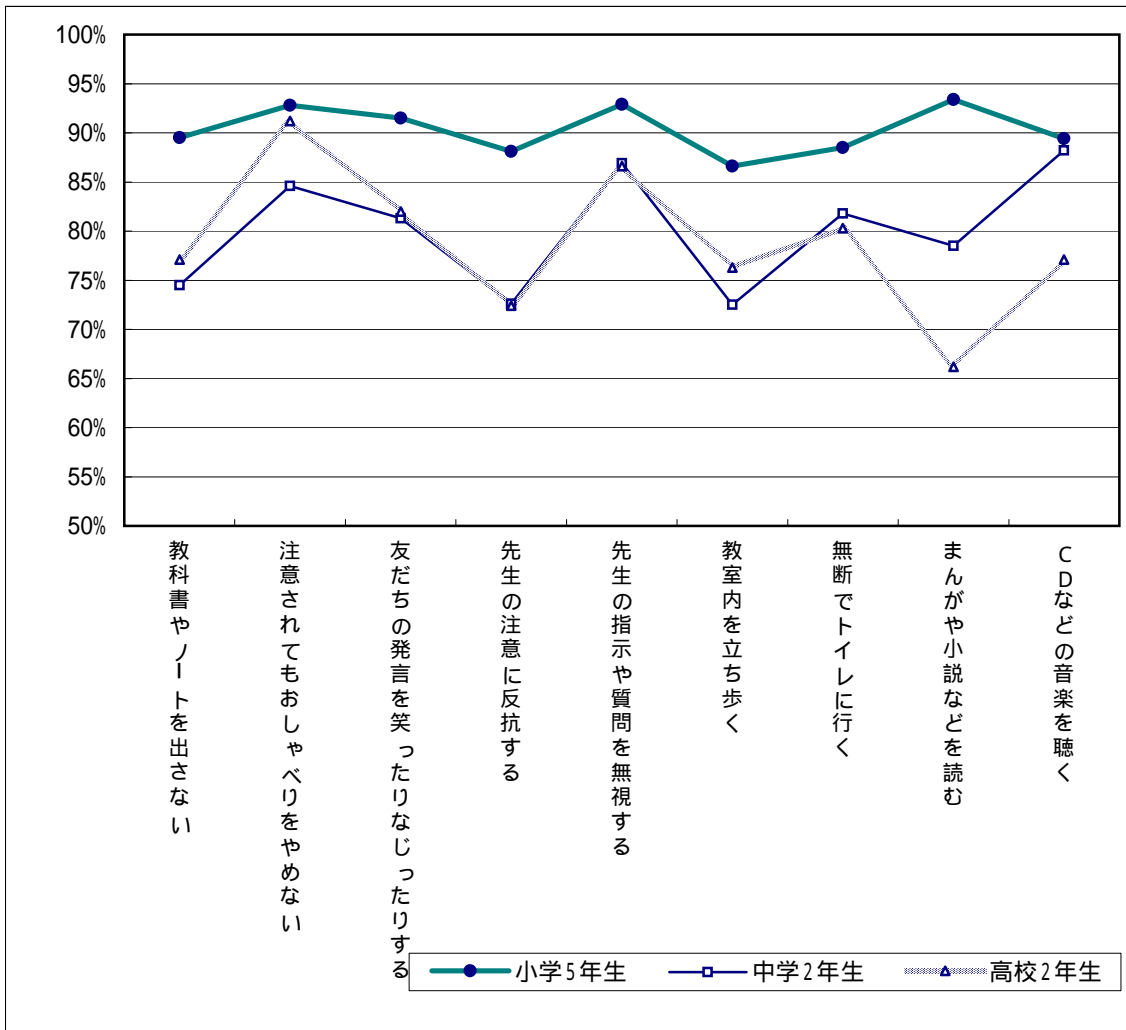


CDなどの音楽を聴く



全体的傾向

「悪い」(とても + かなり)と思う者の割合



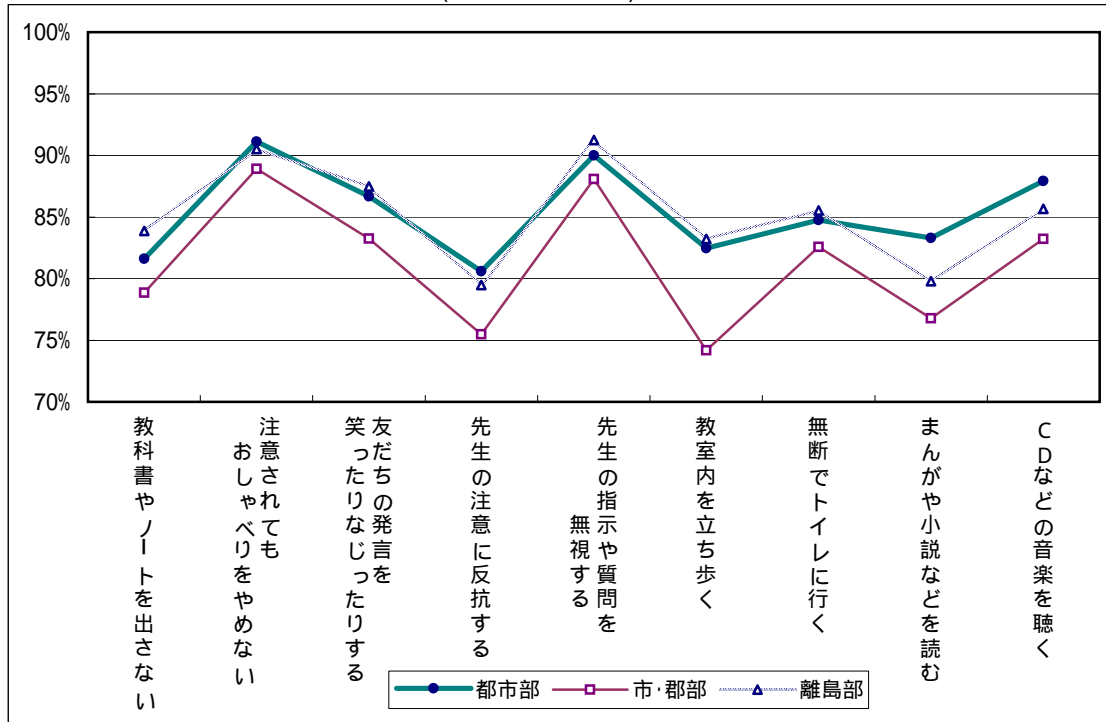
「悪い」の割合が高いのは、小学5年生では、「まんがや小説などを読む」(93.4%)、「先生の指示や質問を無視する」(92.9%)、中学2年生では、「CDなどの音楽を聴く」(88.2%)、「先生の指示や質問を無視する」(86.9%)、高校2年生では、「注意されてもおしゃべりをやめない」(91.2%)、「先生の指示や質問を無視する」(86.9%)である。全体では、「注意されてもおしゃべりをやめない」が89.5%で最も高く、次いで、「先生の指示や質問を無視する」(88.8%)、「友だちの発言を笑ったりなじったりする」と「CDなどの音楽を聴く」(ともに84.9%)となっている。

小・中・高の全校種で見ると、「悪い」が、ほとんどの項目で7割以上の高い数値を示したが、高校2年生の「まんがや小説などを読む」だけが7割を下回っている(66.2%)。小学5年生は、全項目において9割前後の高い数値を示している。しかし、中学2年生では9割以上の数値を示した項目は一つもなく、高校2年生では「注意されてもおしゃべりをやめない」のわずか1項目である。

「悪くない」(あまり + まったく)の割合が高いのは、小学5年生では、「教室内を立ち歩く」(11.9%)、「先生の注意に反抗する」(10.7%)、中学2年生では、「先生の注意に反抗する」と「教室内を立ち歩く」(ともに27.3%)、高校2年生では、「まんがや小説などを読む」(33.7%)、「先生の注意に反抗する」(27.5%)となっている。

地区別傾向（全児童生徒）

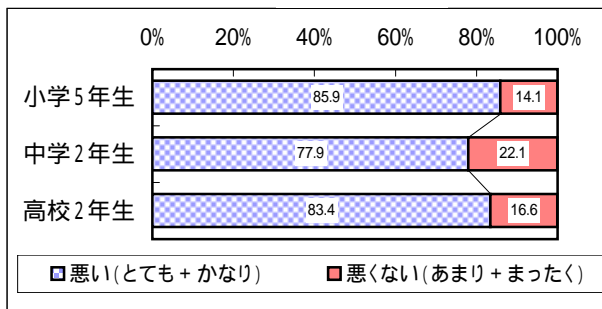
「悪い」(とても+かなり)と思う者の割合



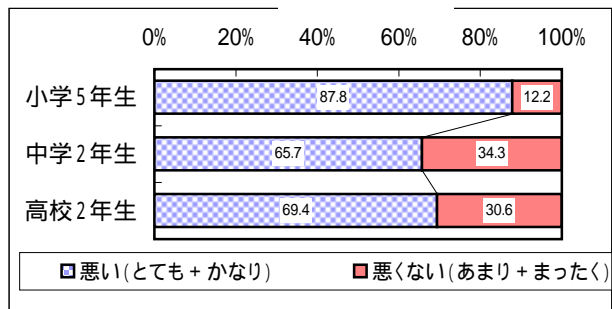
「悪い」で見ると、都市部と離島部はほぼ同じ数値を示している。これに比べて、市・郡部が9項目全てにおいて割合が低い傾向が見られる。

「教室内を立ち歩く」の校種と地区の関係

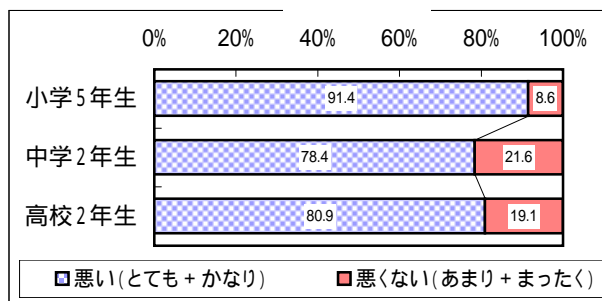
【都市部】



【市・郡部】



【離島部】



市・郡部の中学2年生、高校2年生の30%以上が「悪くない」と回答しており、都市部、離島部より10ポイント以上高い。

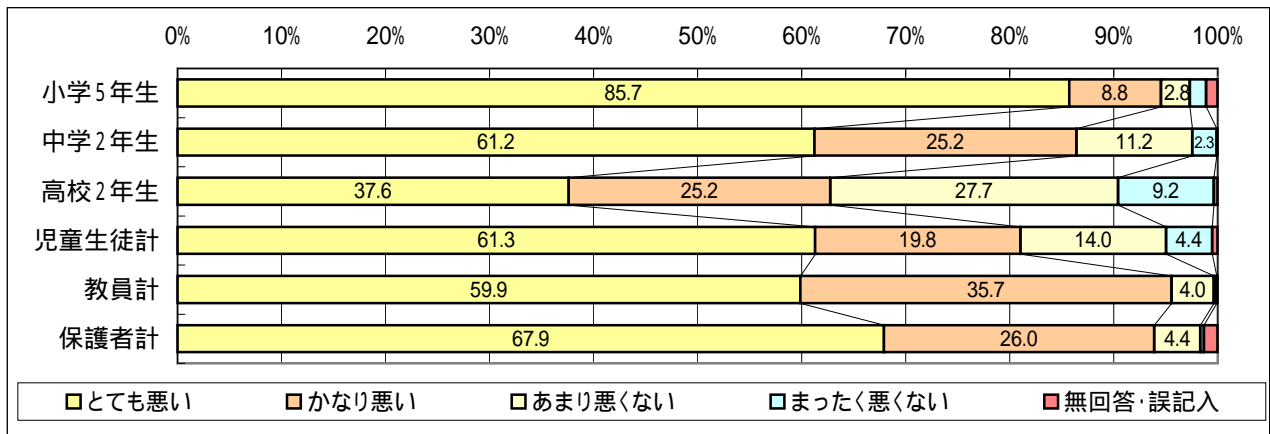
3.(1) 友だちの行為に対する善悪の判断 【小学5年生...問29】【中学2年生...問31】

【高校2年生...問34】【教員...問19】【保護者...問27】

あなたの友だちが(児童生徒や子どもさんの友だちが)次のようなことをしていたら、あなたはどの程度悪いことだと思いますか。一つ選んで番号を教えてください。

- 1 とても悪い 2 かなり悪い 3 あまり悪くない 4 まったく悪くない

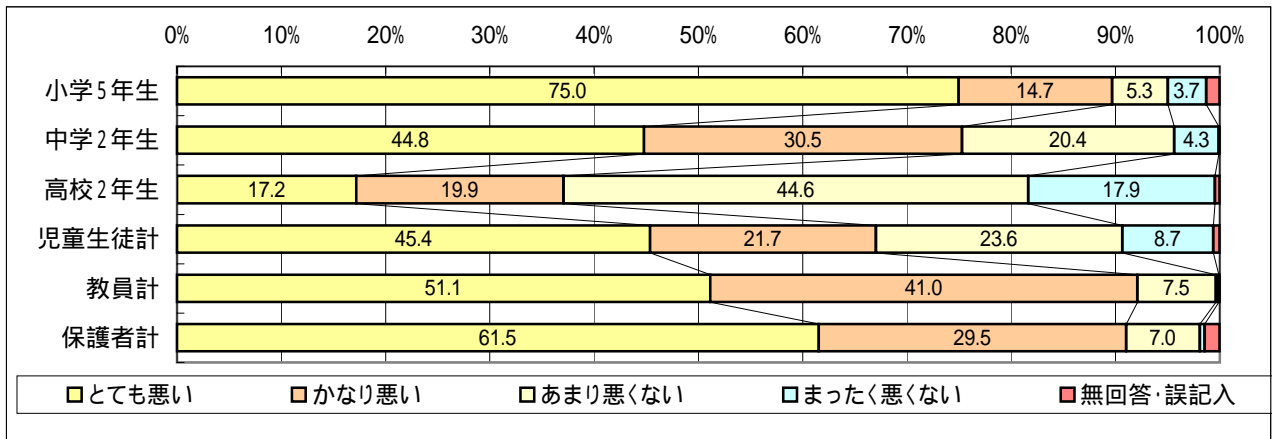
自分の部屋でたばこをすう



「とても悪い」+「かなり悪い」でみると、教員と保護者としては差がないが、子どもと大人の比較では、子どもが大人より10ポイント以上低くなっている(子ども81.1%，大人94.3%)。

「とても悪い」+「かなり悪い」は、学年が上がるにつれて減少し、中学2年生と高校2年生では23.6ポイントの差がある(小学5年生94.5%，中学2年生86.4%，高校2年生62.8%)。

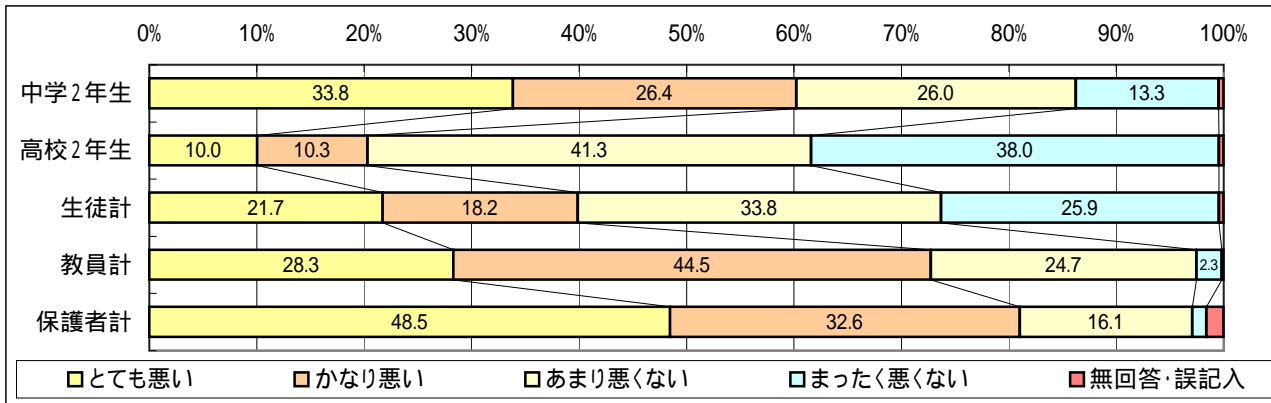
自分の家で酒を飲む



小・中・高と学年が上がるにつれて罪悪感が減少しているのは、「たばこ」と同じであるが、「たばこ」と比べて、児童生徒、教員、保護者すべて「とても悪い」+「かなり悪い」の回答が減少している(児童生徒67.1%，教員92.1%，保護者91.0%)。

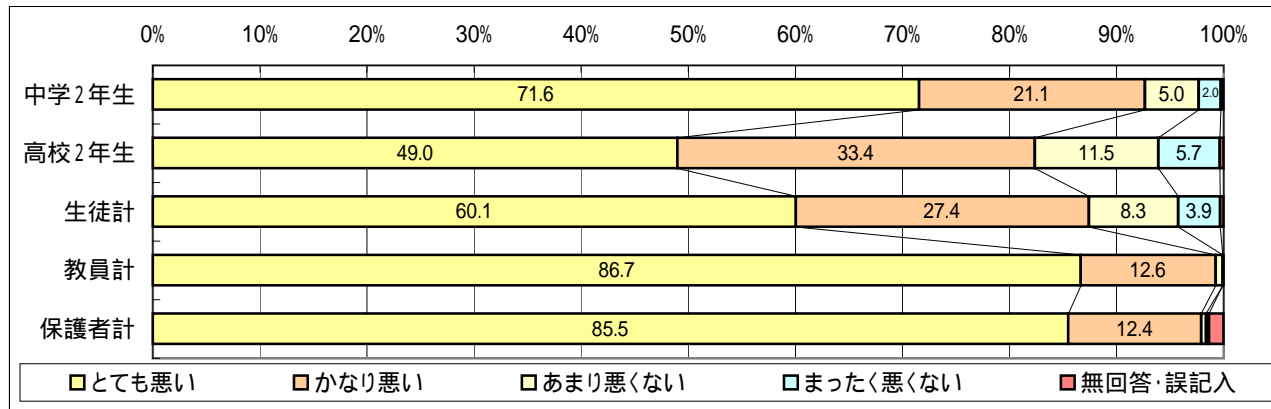
規範意識

アダルトビデオを見る(小学5年生は除く)



生徒間では、高校2年生で「とても悪い」+「かなり悪い」と答えた者は20.3%で、中学2年生(60.2%)の3分の1である。また、教員、保護者とも高校が他校種より低くなっている。

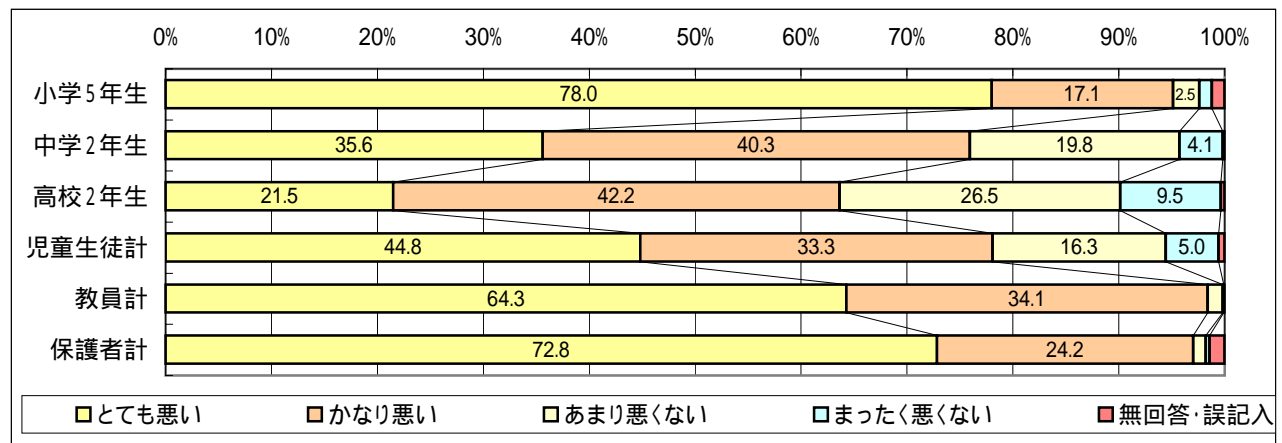
車やバイクの無免許運転をする(小学5年生は除く)



「とても悪い」+「かなり悪い」でみると、中学2年生と高校2年生とでは、高校生の方が10ポイントほど低くなっている(中学2年生92.7%, 高校2年生82.4%)。

また、子どもと大人では10ポイントほどの差があるが(子ども87.5%, 大人98.3%), 教員と保護者はほとんど同じ数値である。

保護者に無断で外泊する

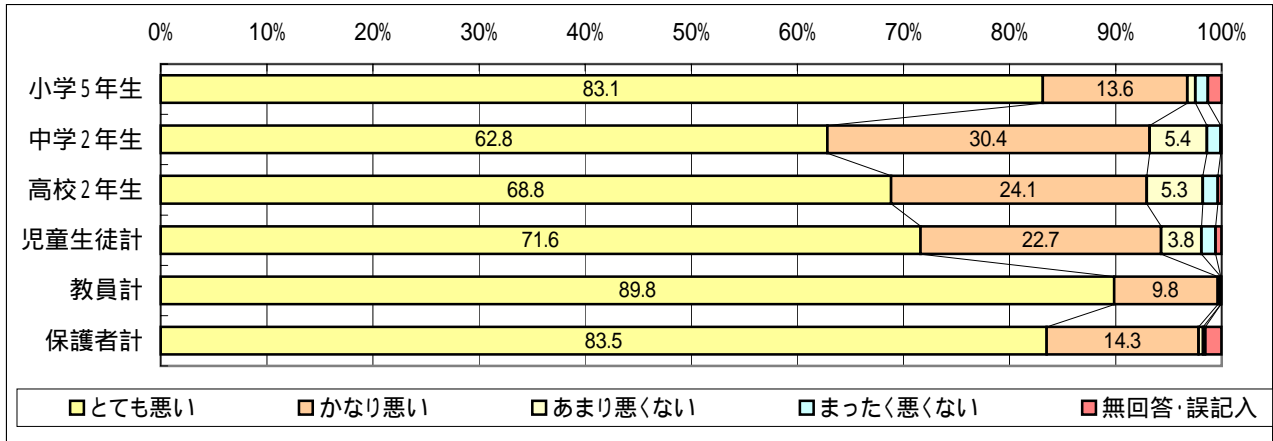


「とても悪い」+「かなり悪い」が、小・中・高と子どもの年齢が上がるにつれて減少している(小学5年生95.1%, 中学2年生75.9%, 高校2年生63.7%)。

教員と保護者ではほとんど違いがないが、子どもと大人の比較では約20ポイント以上の開きがある(子ども78.1%, 教員98.4%, 保護者97.0%)。

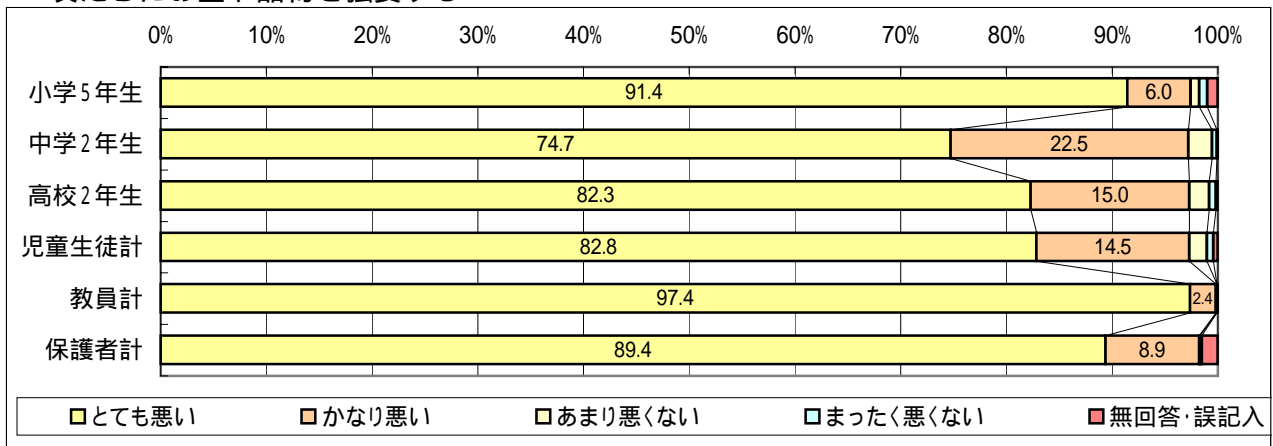
規範意識

人に暴力をふるう



「とても悪い」+「かなり悪い」でみると、児童生徒、教員、保護者ともすべて90%を上回っており、暴力に対する罪悪感が強いことがうかがえる(児童生徒94.3%，教員99.6%，保護者97.8%)。

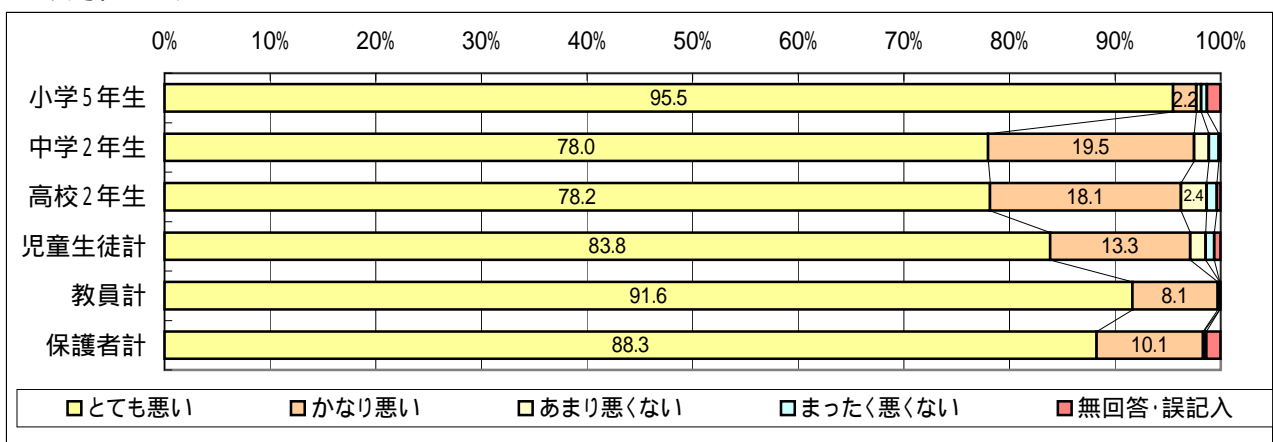
友だちにお金や品物を強要する



「とても悪い」+「かなり悪い」は、児童生徒、教員、保護者ともほぼ100%であり、ここの18問中最も高い(児童生徒97.3%，教員99.8%，保護者98.3%)。

ただ、「とても悪い」に限ると、中学2年生は他校種より低くなっている。

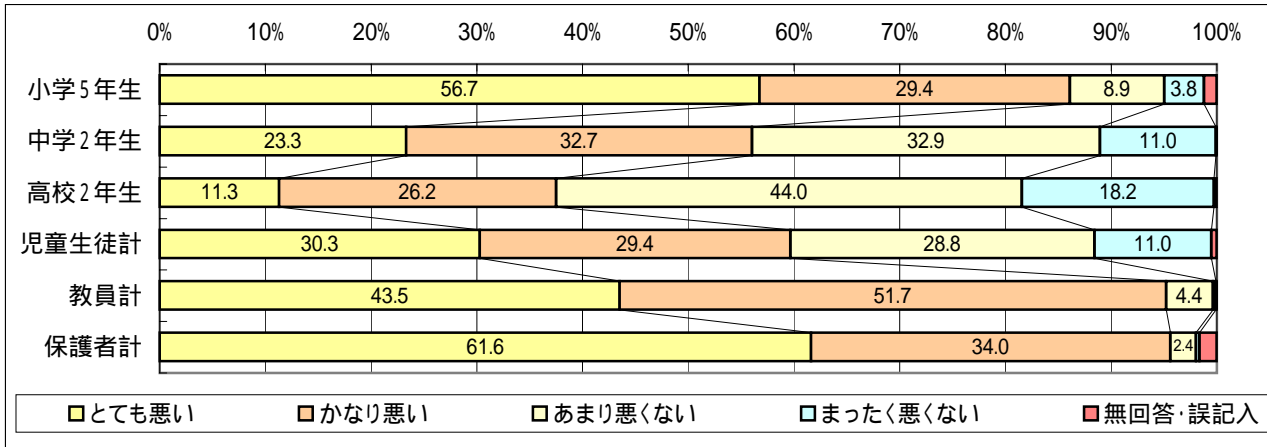
万引きをする



「とても悪い」+「かなり悪い」でみると、上の「金品の強要」とほぼ同じ数値を示しており、罪悪感が強い(児童生徒97.1%，教員99.7%，保護者98.4%)。

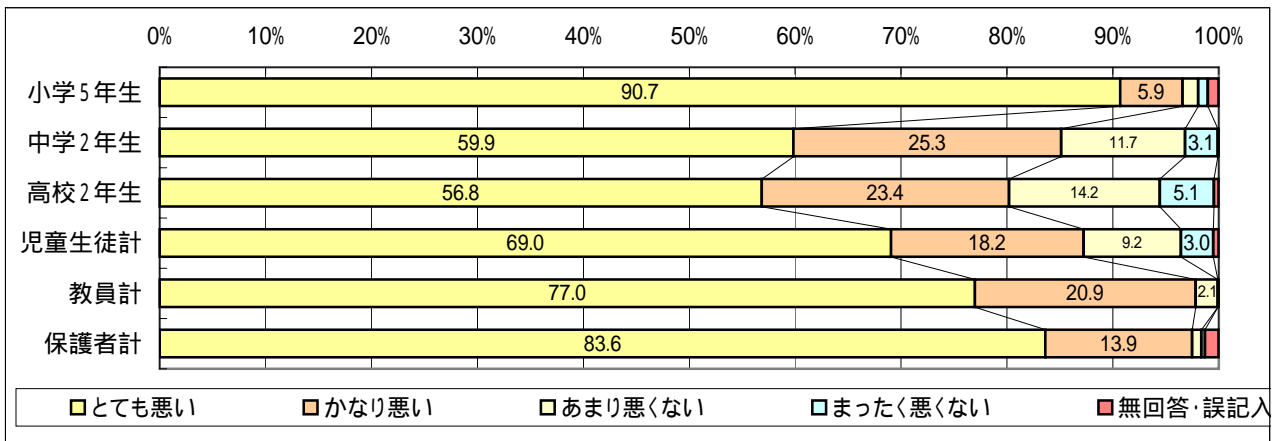
規範意識

夜遅く外を出歩く



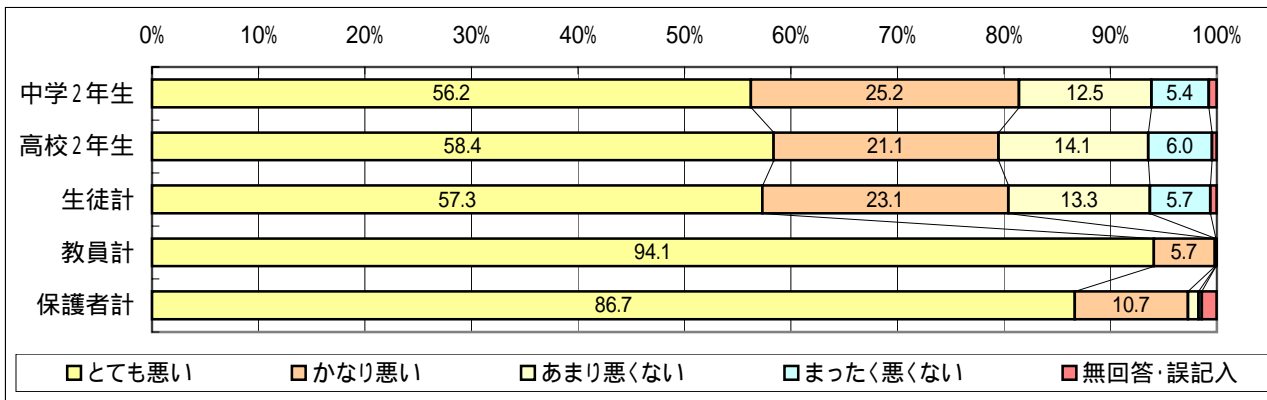
「とても悪い」+「かなり悪い」でみると、教員と保護者の比較では、両者間に校種間を含めて大きな違いはみられないが、子どもと大人では差が35ポイントある(子ども59.7%, 大人95.5%)。また、児童生徒では、子どもの学年が上がるにつれて割合が減少している。

ナイフを持ち歩く



小学5年生と教員、保護者は、ほとんどが「とても悪い」もしくは「かなり悪い」を選んでいるのに対して、中学2年生と高校2年生は「あまり悪くない」+「まったく悪くない」がそれぞれ14.8%、19.3%である。

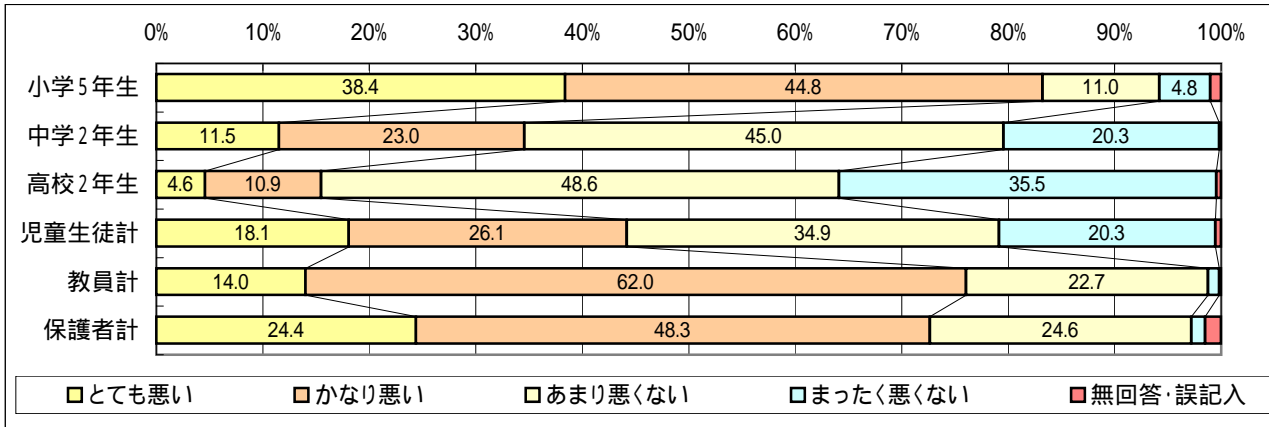
援助交際をする(小学5年生は除く)



中学2年生、高校2年生とも「とても悪い」と答えているのは60%未満で、「かなり悪い」を加えても80%前後である(中学2年生81.4%, 高校2年生79.5%)。つまり5人に1人は、「あまりもしくはまったく悪くない」と感じていることになる。

規範意識

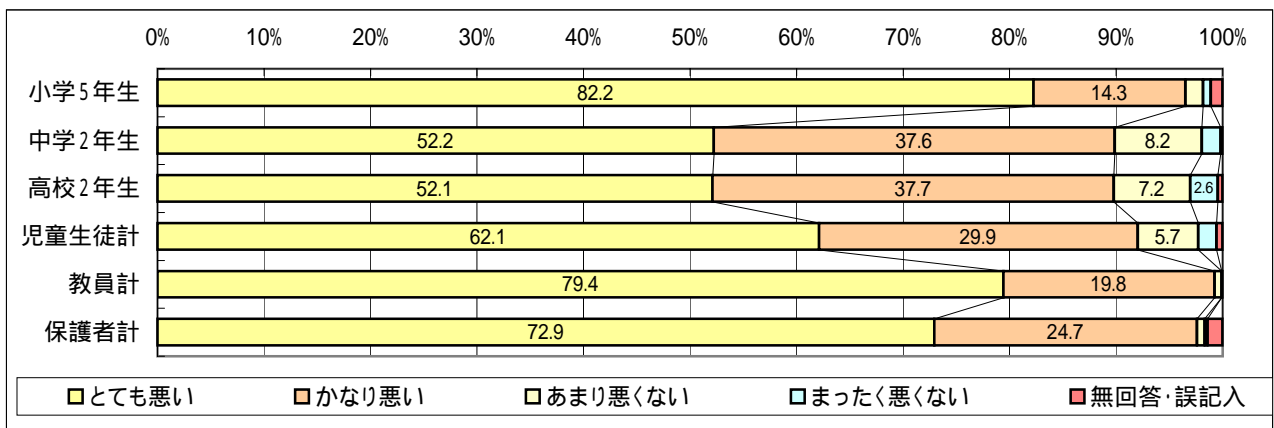
自転車の二人乗りをする



「とても悪い」+「かなり悪い」は、小学5年生が最高で83.2%、中学2年生は34.5%、高校2年生は15.5%と激減する。教員、保護者も75%前後である（「とても悪い」に限るとそれぞれ14.0%、24.4%となっており、全項目中最も低い）。

選択肢別にみると、「とても悪い」は全体で20.0%にすぎず、「かなり悪い」が小学5年生・教員・保護者で最も多く、「あまり悪くない」が中学2年生・高校2年生では最も多い。子ども、大人とも自転車の二人乗りに対する罪悪感は低い。小学5年生よりも教員・保護者の罪悪感が低いのは問題である。

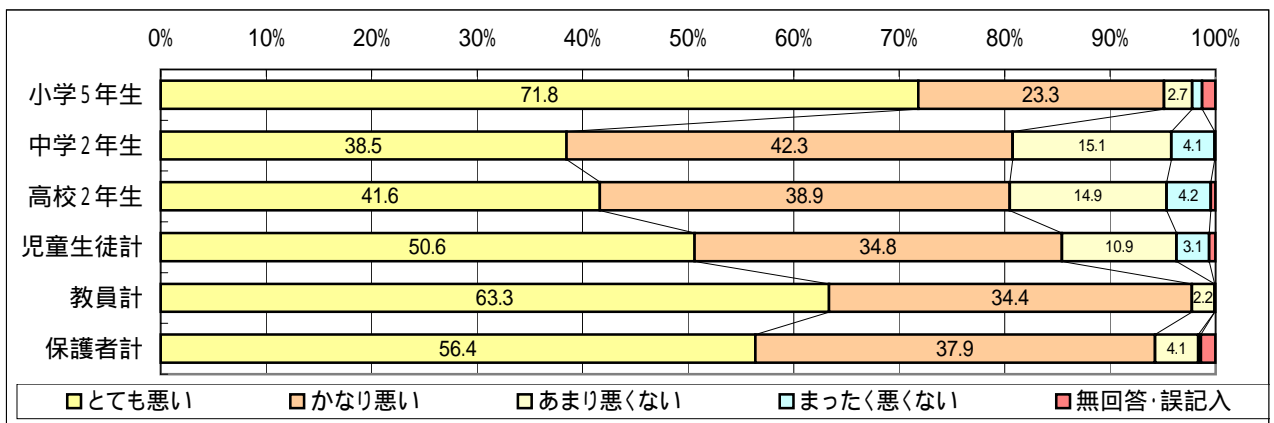
他人の自転車を無断で使用する



「とても悪い」+「かなり悪い」でみると、児童生徒、教員、保護者ともにほぼ9割かそれ以上と高率になっている（児童生徒92.0%、教員99.2%、保護者97.6%）。

ただ、「とても悪い」だけみると、中学2年生、高校2年生とも52.2%、52.1%と約半数しかなく、小学5年生より30ポイントも低くなっている。

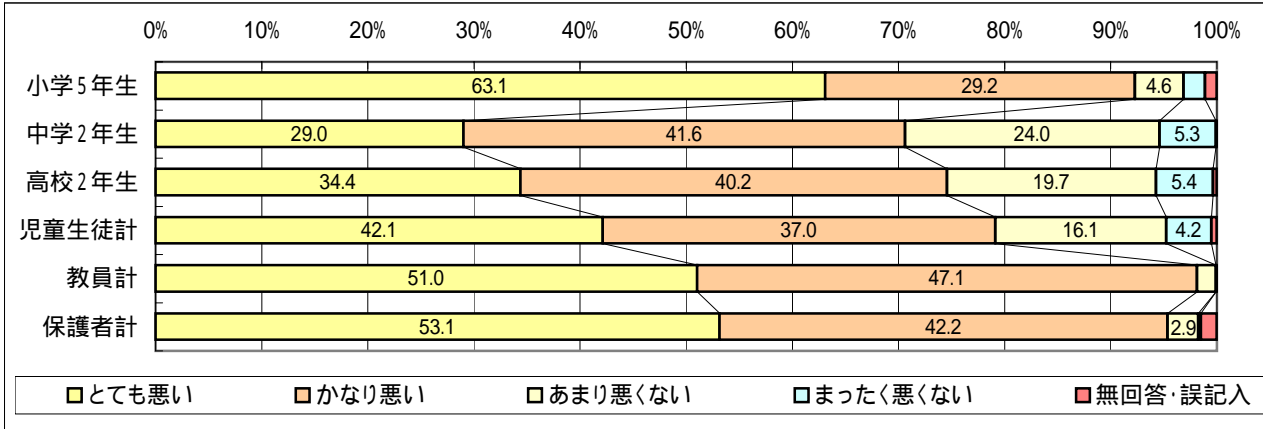
他人の傘を無断で使う



「自転車の無断借用」と比較してみると、すべての対象で「とても悪い」+「かなり悪い」の割合が減少しており、自転車の場合よりやや罪悪感が薄くなっている（児童生徒85.4%、教員97.7%、保護者94.3%）。

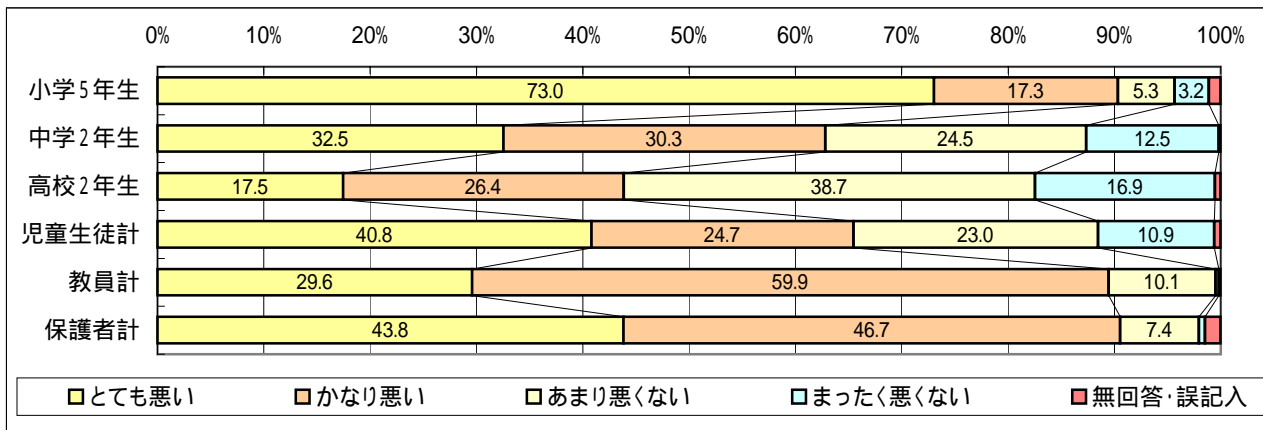
規範意識

ジュースの空き缶等を道路に放置する



「とても悪い」+「かなり悪い」は、小学5年生が92.3%であるのに比して、中学2年生，高校2年生はそれぞれ70.6%，74.6%で，20ポイント前後の開きがある。これを「とても悪い」に限ると，その差はさらに大きくなる。

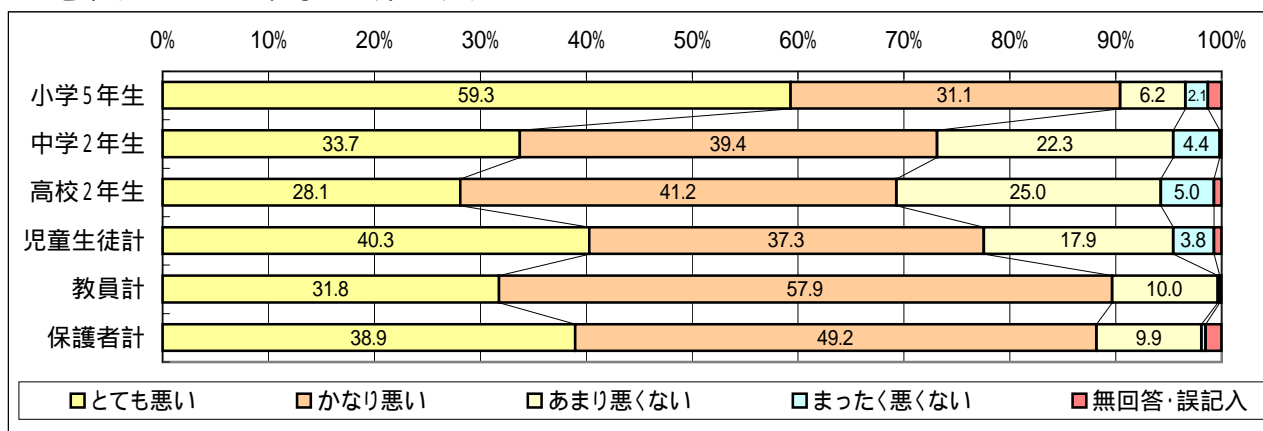
電車の通路や道路にべた座りする



「とても悪い」+「かなり悪い」は、小学5年生は90%以上であるのに対して、中学2年生では62.8%，高校2年生になると43.9%と小学5年生の半分以下で，校種間で大きな差がある。また子どもと大人の差も約25ポイントほどある(子ども65.5%，大人90.3%)。

これを「とても悪い」に限定すると，小学5年生を除いてすべて5割を割り込んでおり，「自転車の二人乗り」に次いで低い数値となっている。

電車やバスでお年寄りに席をゆずらない

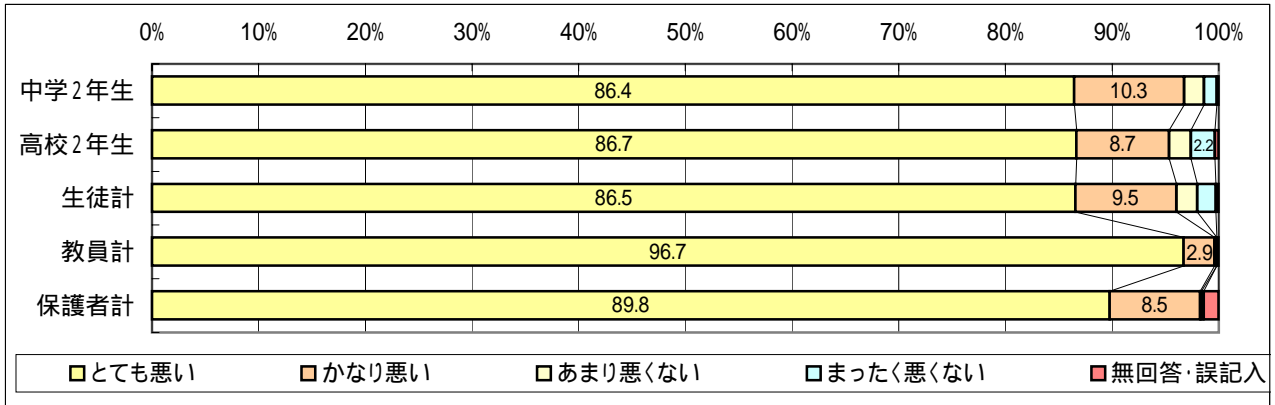


「べた座り」と同じような数値を示しているが，「べた座り」と比べて「とても悪い」+「かなり悪い」が，中学2年生，高校2年生でそれぞれ10.3ポイント，25.4ポイント多くなっている。

「とても悪い」+「かなり悪い」でみると，小学5年生と中学2年生・高校2年生では20ポイント程度の開きがある(小学5年生90.4%，中学2年生73.1%，高校2年生69.3%)。

規範意識

薬物(シンナー等)を使用する(小学5年生は除く)



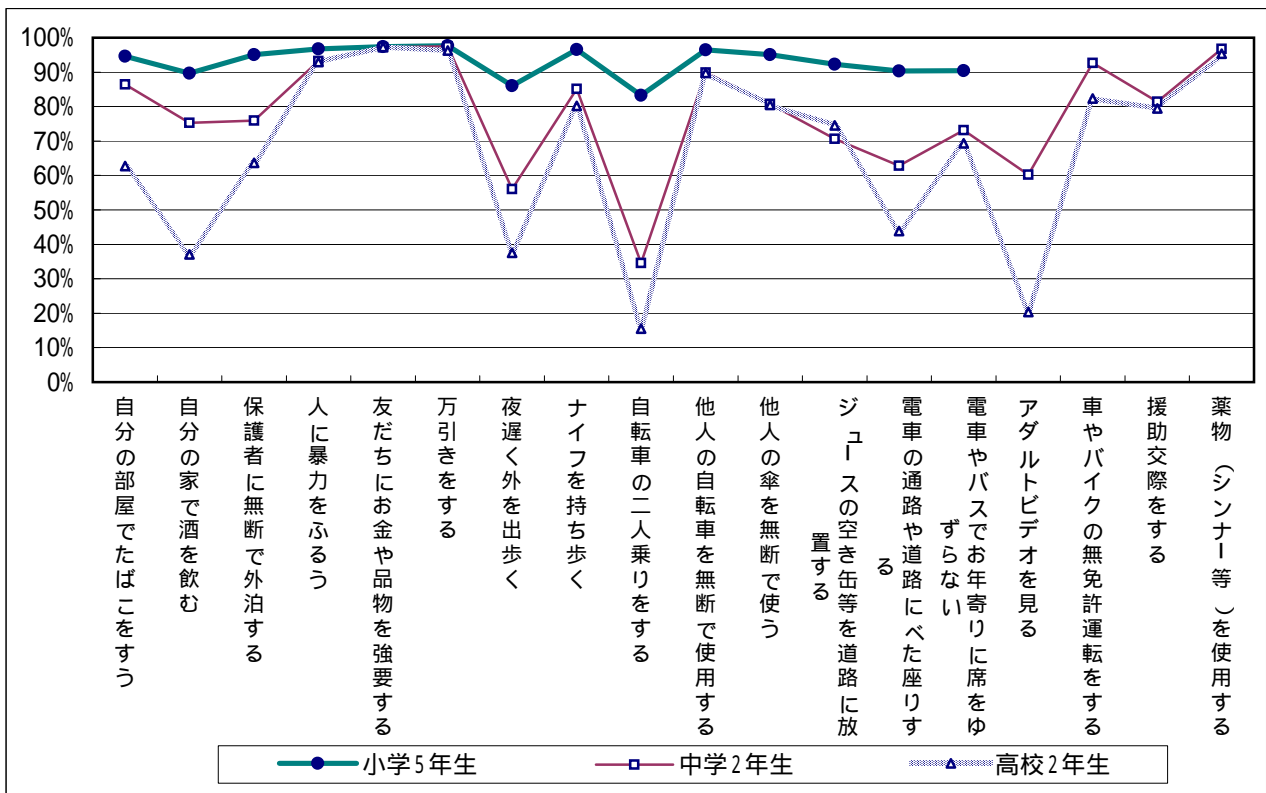
大人は、ほぼ全員が「とても悪い」もしくは「かなり悪い」と回答している。また、中学2年生、高校2年生もそれぞれ96.7%、95.4%と高くなっている。

中学2年生、高校2年生、教員、保護者ともに、「とても悪い」と回答した割合が最も高いのがこの「薬物使用」であるが、反面「あまり悪くない」+「まったく悪くない」が、中学2年生で3.1%、高校2年生で4.3%となっている。

全体的傾向

校種別

「悪い」(とても+かなり)と思う者の割合



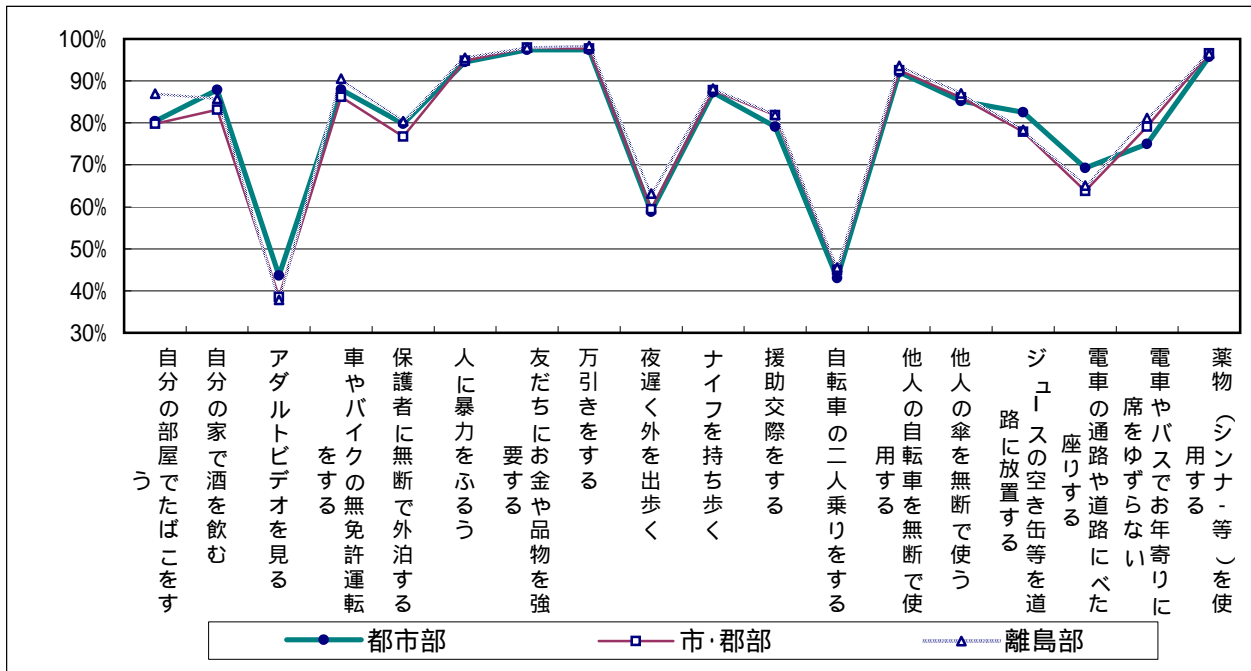
「悪い」の割合は14項目すべてで、小学5年生が中学2年生、高校2年生より高い。また、4項目で保護者より、3項目で教員より高い結果となっている。小学5年生は中学2年生、高校2年生より健全な規範意識を持っており、ある部分では大人よりも健全な規範意識を持っていると言える。

項目別に見ると、「暴力」「金品強要」「万引き」など、他人に直接的に害を及ぼすことについては、「悪い」とする割合は校種間でさほど変わらない。しかし、それ以外の項目では、中学2年、高校2年と学年を追って急激に低下する。

規範意識

地区別（全児童生徒）

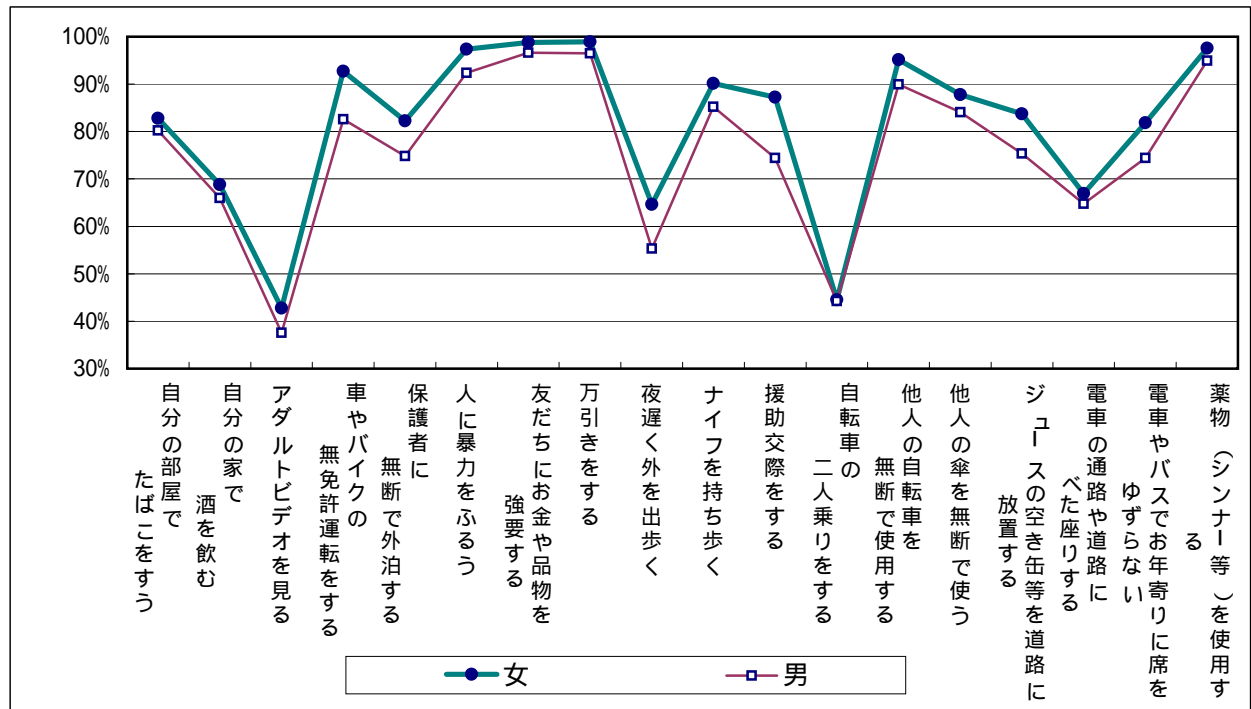
「悪い」（とても＋かなり）と思う者の割合



「悪い」の地区別集計では大きな差異は認められない。

男女別（全児童生徒）

「悪い」（とても＋かなり）と思う者の割合

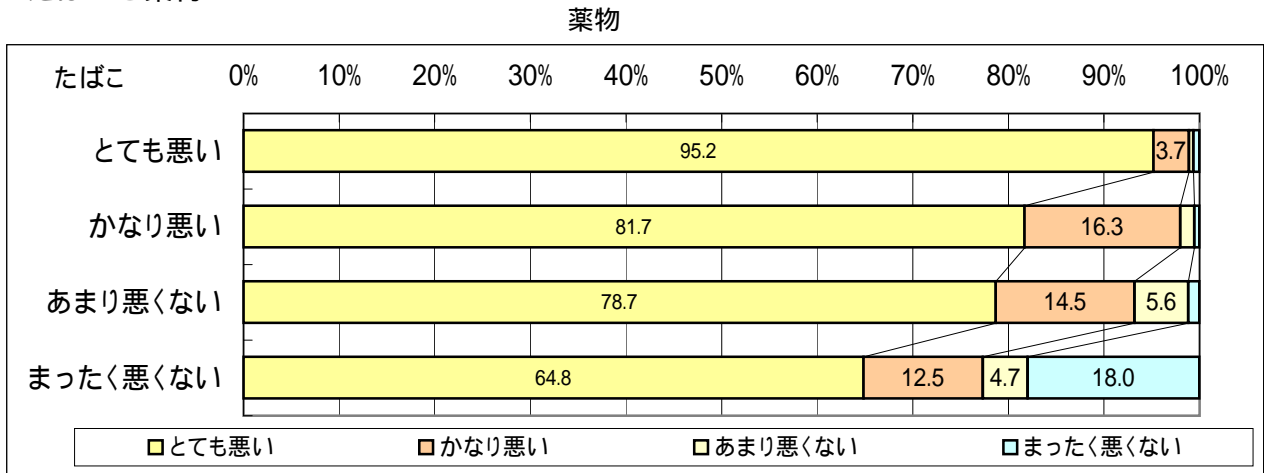


「援助交際をする」と「車やバイクの無免許運転をする」、「夜遅く外を出歩く」などの項目では、女子が男子より「悪い」と見る割合が高いが、全項目にわたって男女とも同じ傾向を示している。

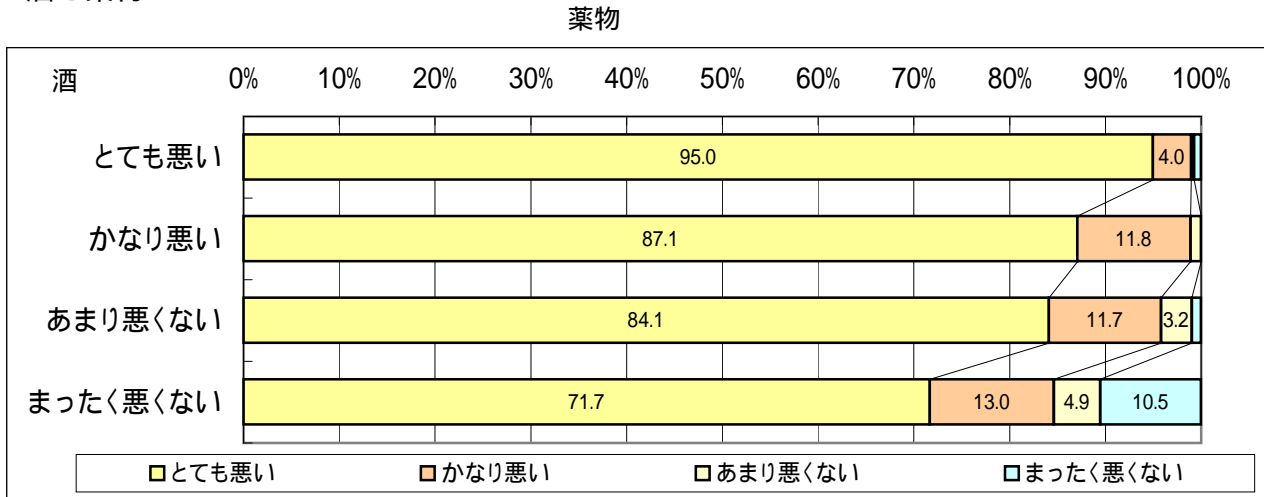
規範意識

「自分の部屋でたばこをすう」・「自分の家で酒を飲む」と「薬物（シンナー等）を使用する」との関係（中学2年生+高校2年生）

たばこと薬物



酒と薬物



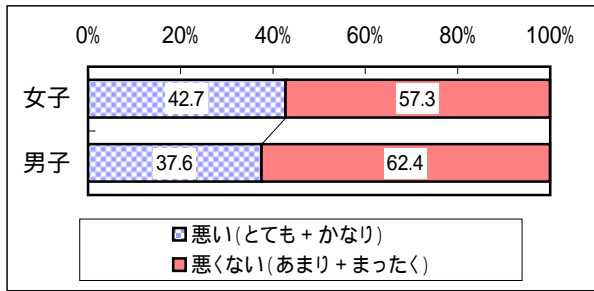
たばこ・酒と薬物のあいだには相関がある(いずれも、0.1%水準で有意)。

たばこを「とても悪い」と回答した者の95.2%は、薬物も「とても悪い」と答えている。

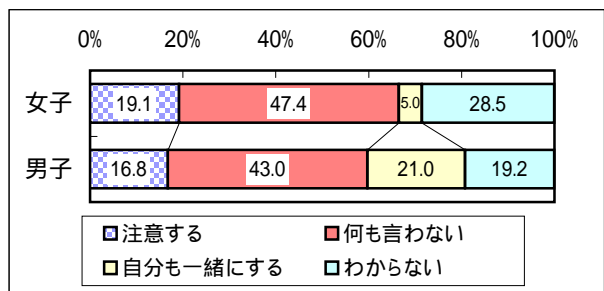
一方、たばこを「全く悪くない」と回答した者で、薬物を「あまり悪くない」+「まったく悪くない」と答えた者は22.7%にもなる。酒と薬物のあいだにも同じような傾向が見られる。このことは、たばこ・酒に対して「とても悪い」という意識を徹底して持たせる指導が薬物乱用防止の指導にもつながることを示していると言える。

「アダルトビデオを見る」の男女別・地区別関係（中学2年生+高校2年生）

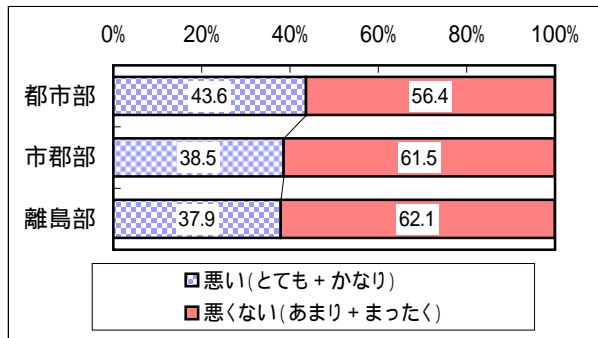
男女別 【「悪い」と「悪くない」の割合】



【対応の仕方】



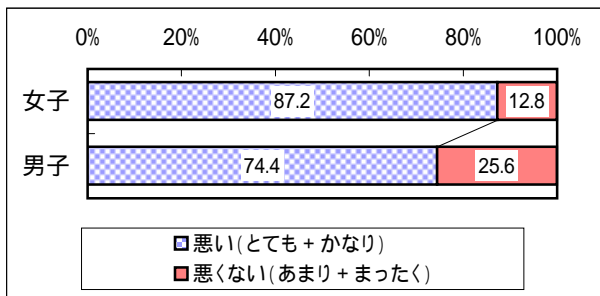
地区別 【「悪い」と「悪くない」の割合】



「アダルトビデオを見る」の「悪い」の割合で見ると地区別と男女の差には大きな開きはみられない。「自分も一緒にする」では、男子が女子より16.0ポイント高い。

「援助交際をする」の男女別関係（中学2年生+高校2年生）

【「悪い」と「悪くない」の割合】



女子:n=1113 男子:n=1063 [***]

「援助交際をする」の項目では「悪い」は女子が男子より12.8ポイント高い。「悪くない」は男子の4人に1人、女子では8人に1人の割合である。「悪くない」の割合は総計で約2割にも及んでおり、援助交際に対する罪の意識は全体的に低く、特に男子は意識が低いと言えよう。売春行為を「援助交際」という軽い流行語で言い表すことから、ことの重大さを見誤らせ、児童生徒の倫理観に悪い影響を及ぼしていると考えられる。

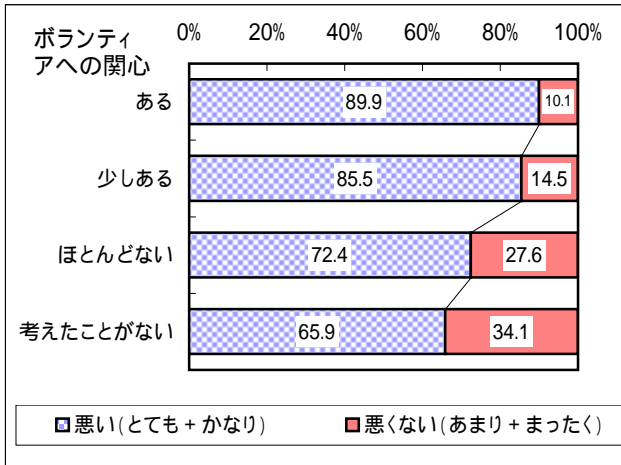
まず、大人自身が、援助交際は人道上決して許されない反社会的行為であることを再認識することが必要である。

子どもに対しては、物欲、金欲から反社会的行為にはしらぬよう指導の強化が求められる。

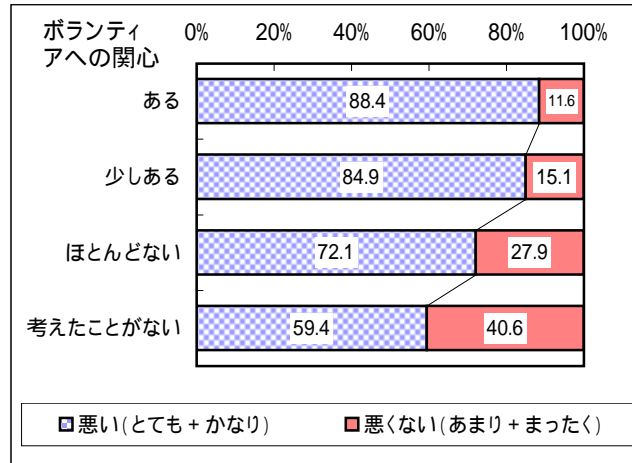
「ボランティアへの関心」(社会生活・他)と「ジュースの空き缶等を道路に放置する」・「お年寄りに席をゆずらない」との関係(全児童生徒)

「ジュースの空き缶等を道路に放置する」と「ボランティアへの関心」, 「お年寄りに席をゆずらない」と「ボランティアへの関心」との関係を見たものである。

ジュースの空き缶等を道路に放置する



お年寄りに席をゆずらない



「ジュースの空き缶等を道路に放置する」ことを「悪い」と回答した者の割合はボランティア活動に興味がある」と回答した群が最も高く約9割である。以下, 「少しある」「ほとんどない」「考えたことがない」の順に低くなる。「お年寄りに席をゆずらない」と「ボランティアへの関心」の関係もほぼ同じ傾向が見られる。「ジュースの空き缶等を道路に放置しない」や「お年寄りに席をゆずる」等の倫理観とボランティアへの関心とは関連が認められると言えよう。

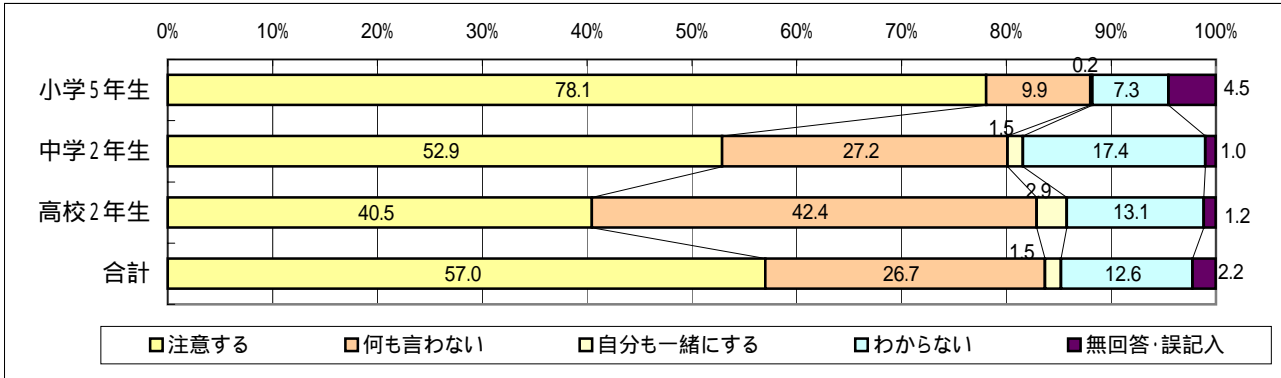
ボランティアへの興味関心をはぐくむことは同時に道徳心, 倫理観の涵養に効果があると考えられる。今後も意欲的なボランティア活動の取り組みが期待される。

3.(2) 友だちの行為に対する対応の仕方 【小学5年生...問29】【中学2年生...問31】
【高校2年生...問29】【保護者...問19】【保護者...問27】

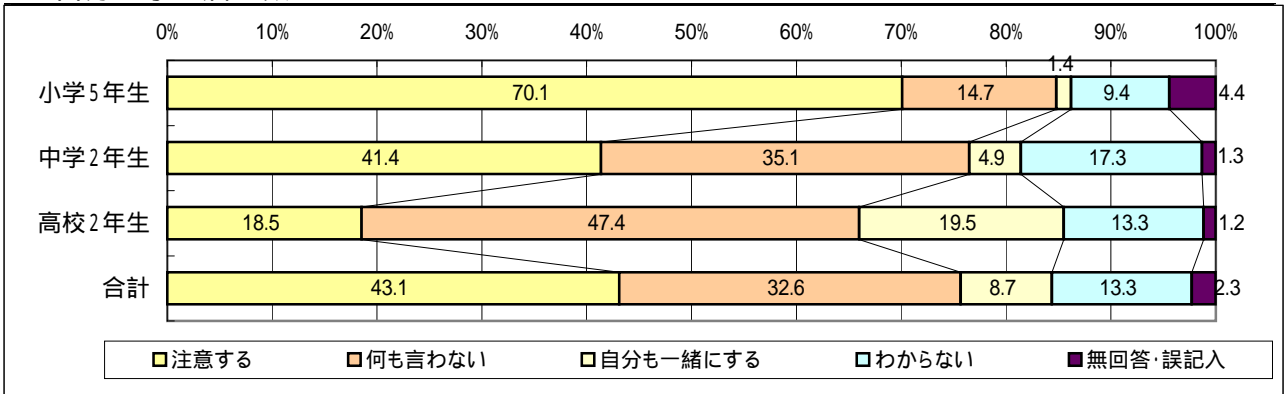
その行動を見てあなたはどのようにしますか。一つ選んで番号を教えてください。

5 注意する 6 何も言わない 7 自分も一緒にする 8 わからない

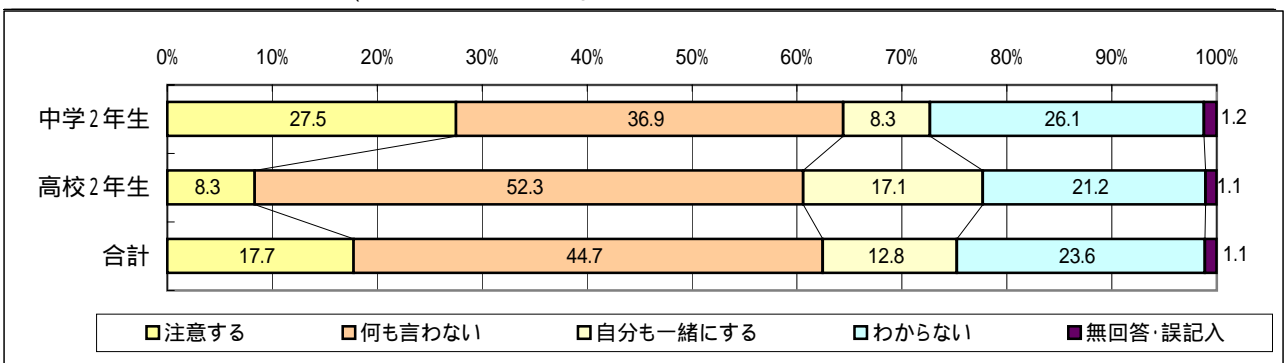
自分の部屋でたばこをすう



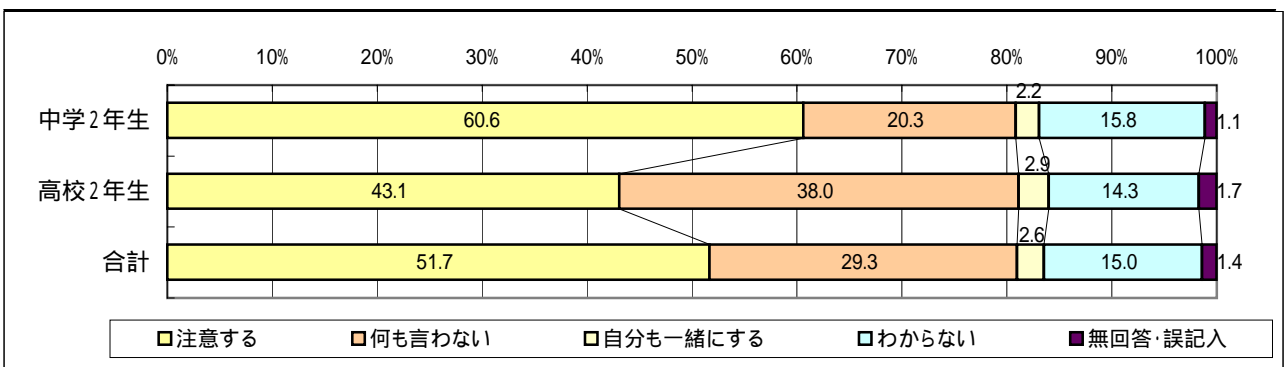
自分の家で酒を飲む



アダルトビデオを見る(小学5年生は除く)

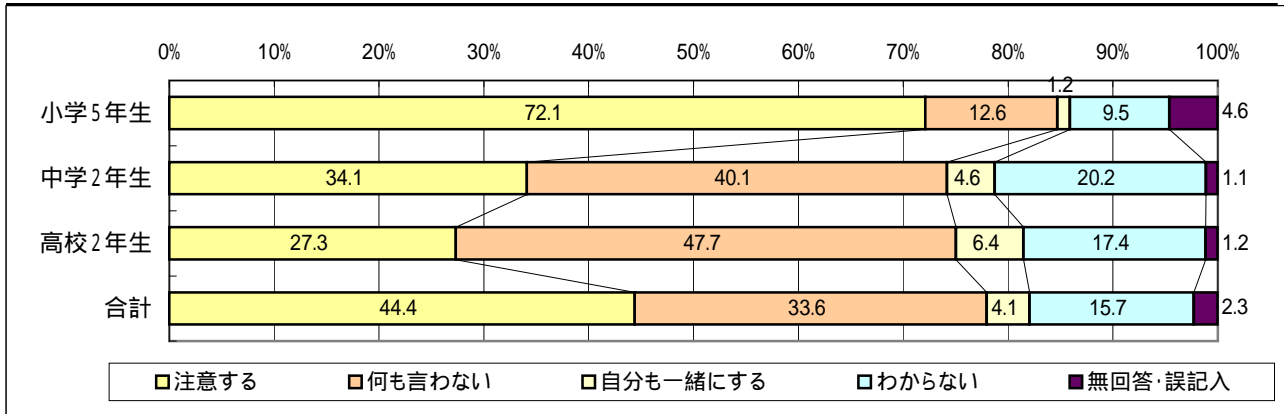


車やバイクの無免許運転をする(小学5年生は除く)

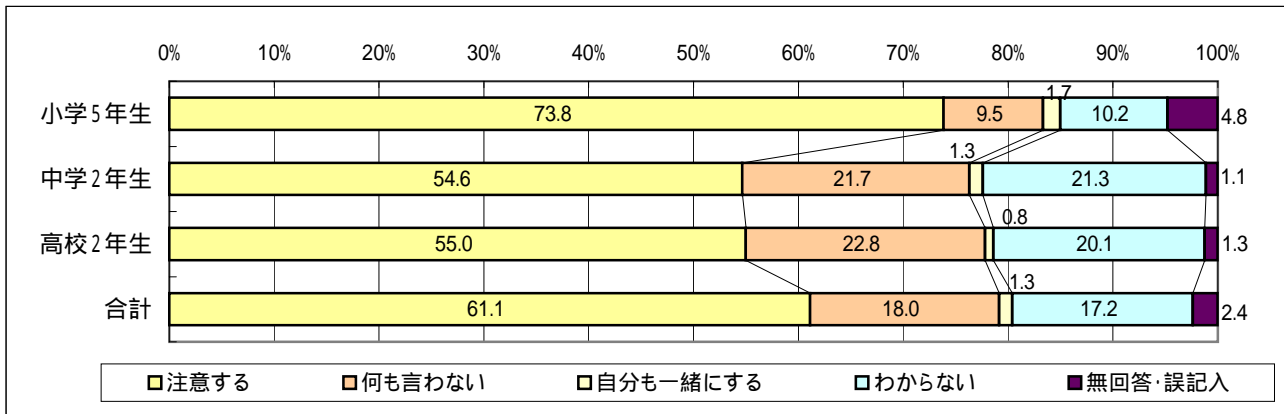


規範意識

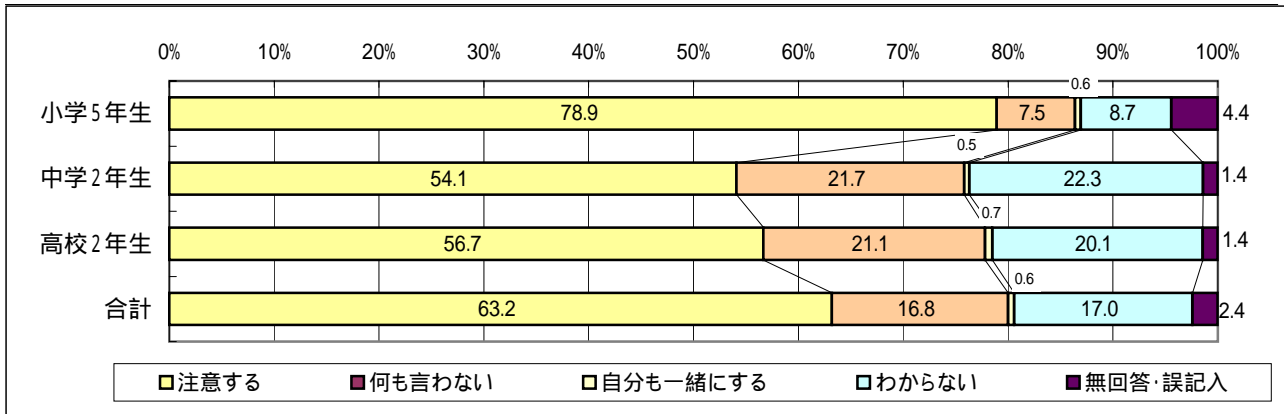
保護者に無断で外泊する



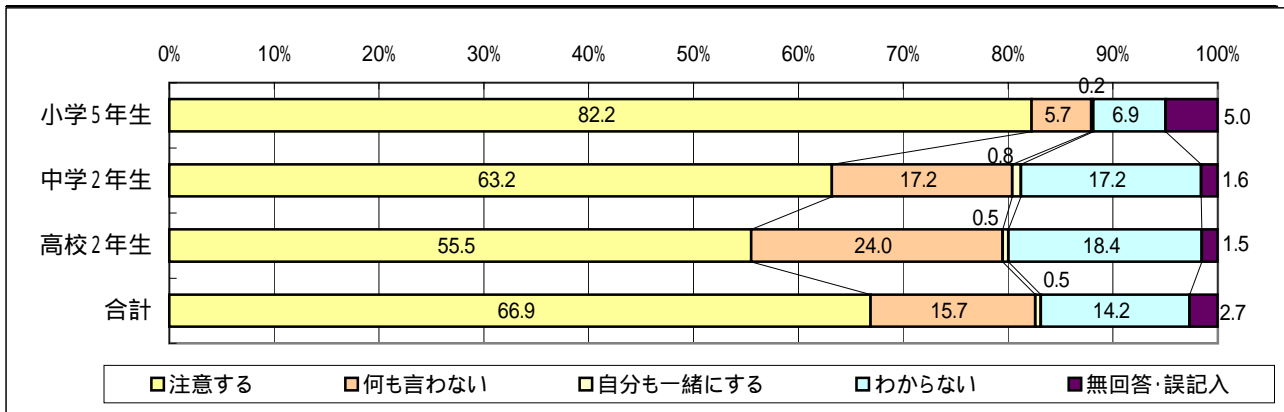
人に暴力をふるう



友達にお金や品物を強要する

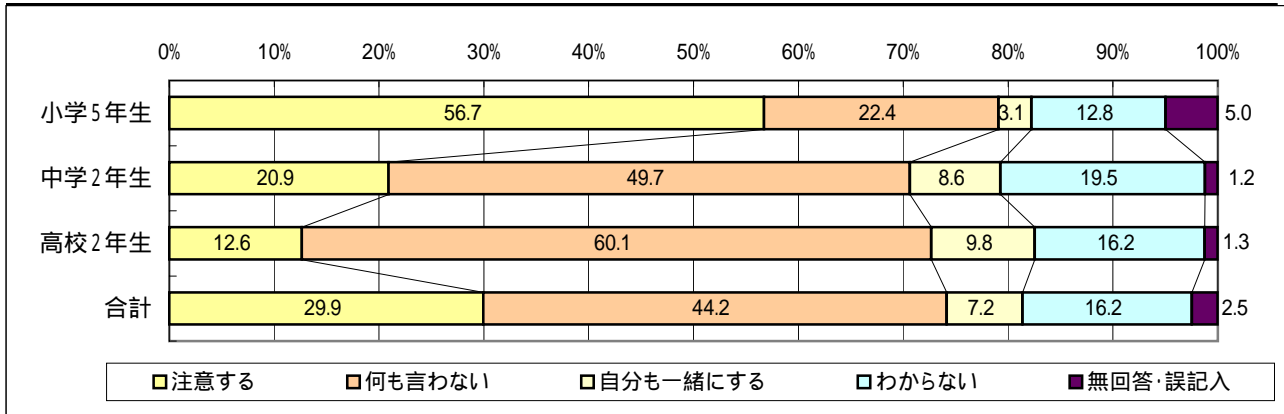


万引きをする

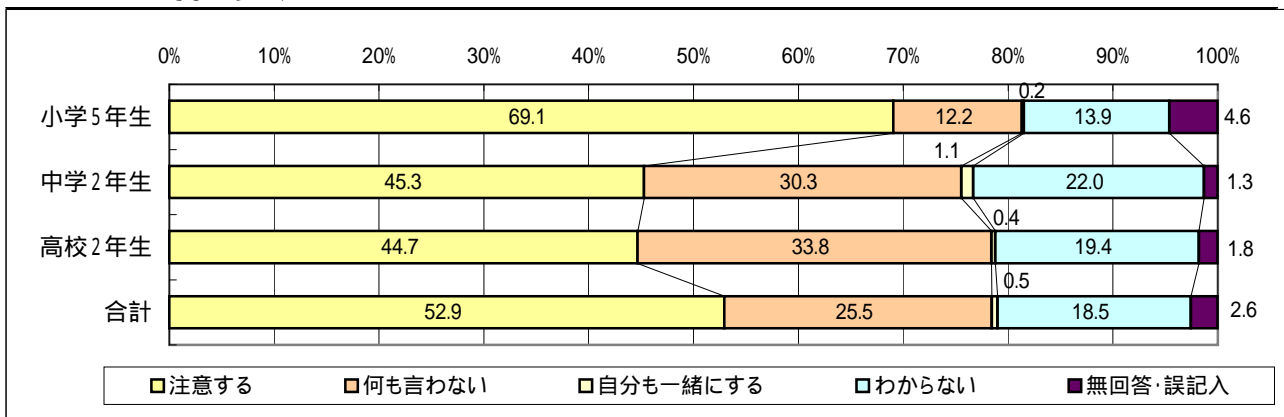


規範意識

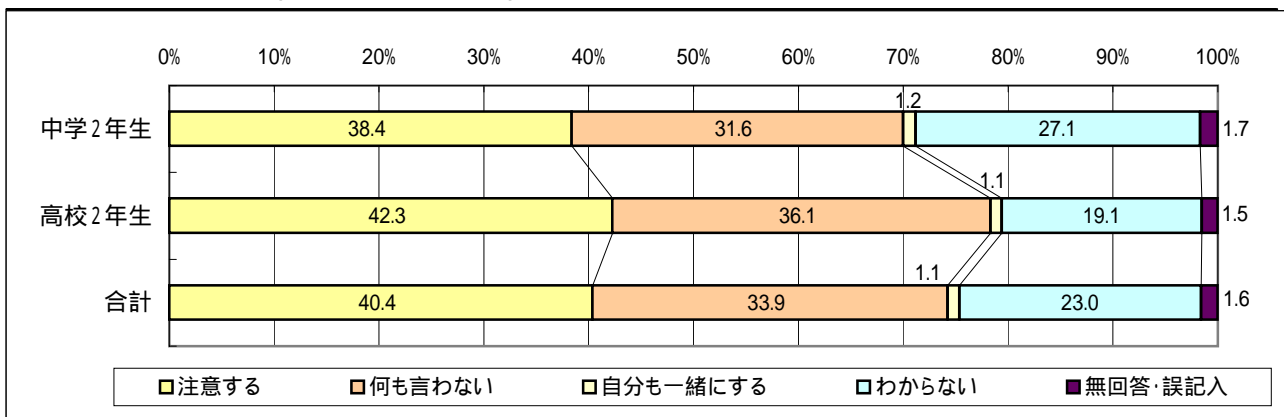
夜遅く外を出歩く



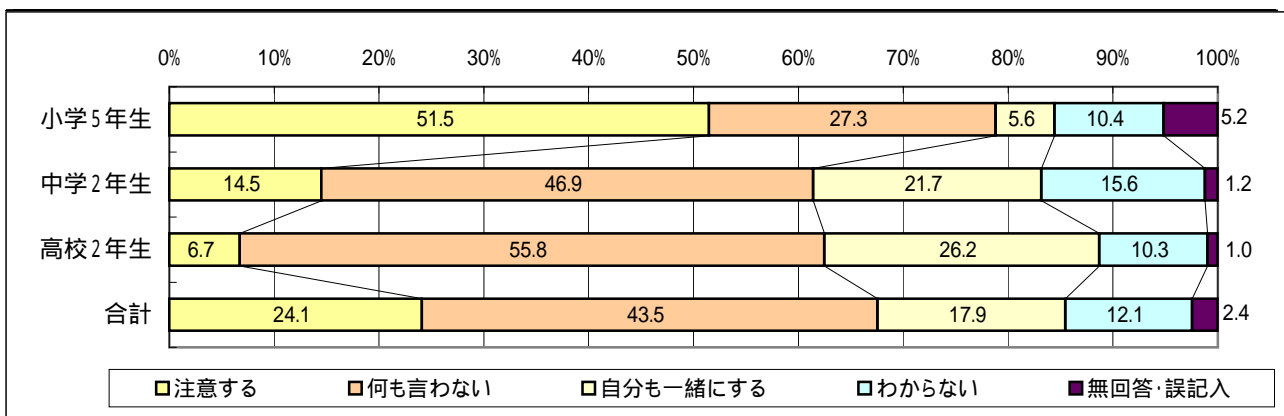
ナイフを持ち歩く



援助交際をする（小学5年生は除く）

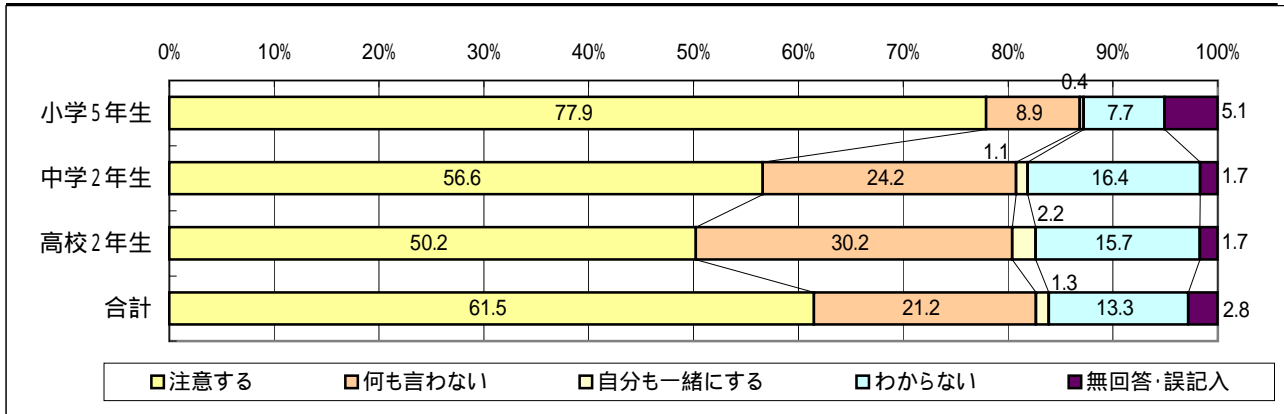


自転車の二人乗りをする

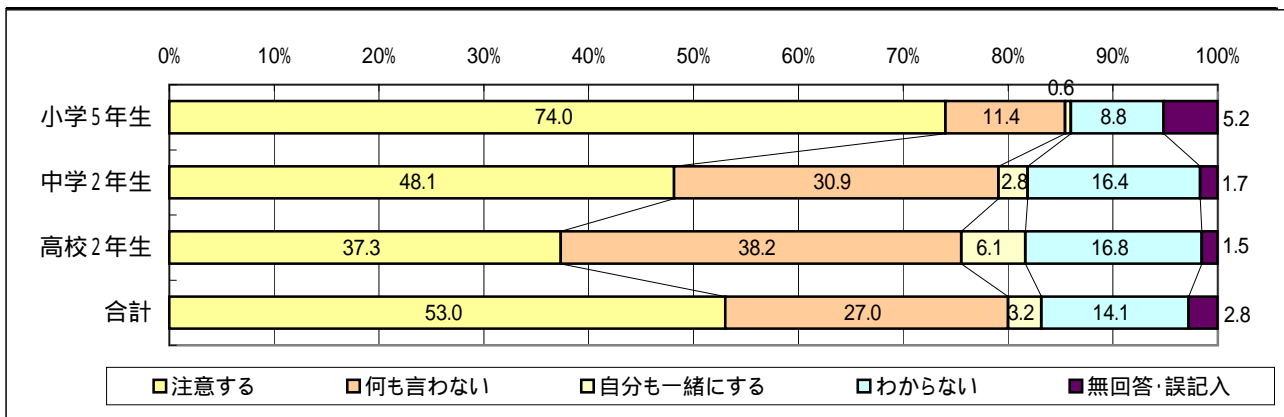


規範意識

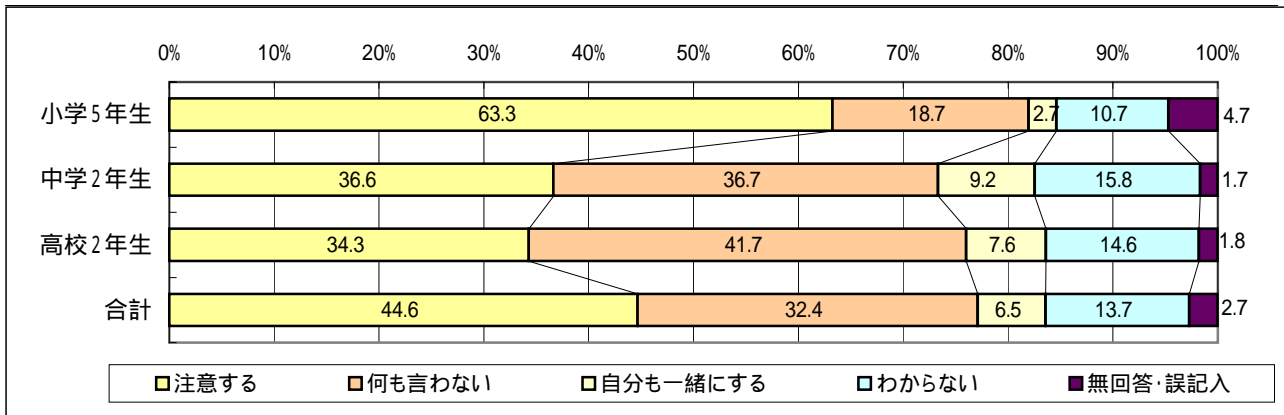
他人の自転車を無断で使用する



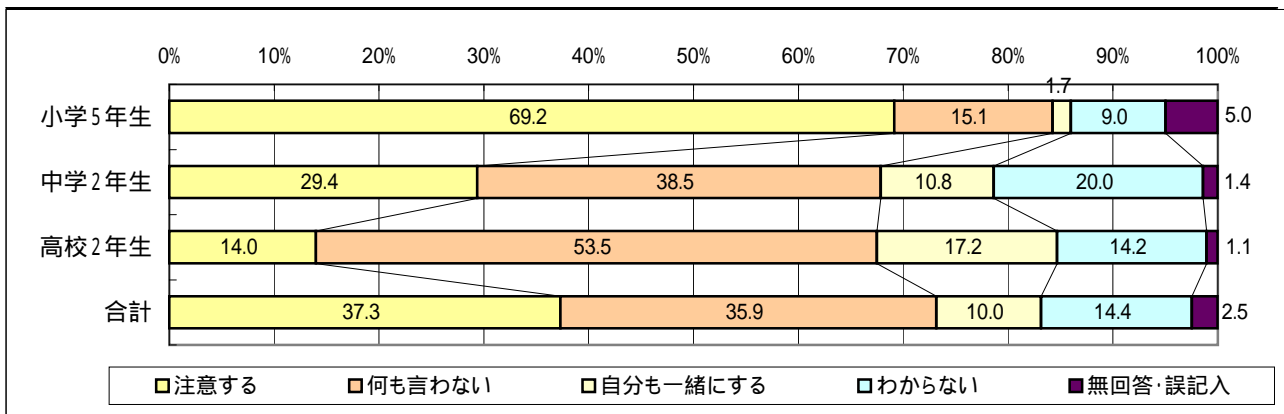
他人の傘を無断で使う



ジュースの空き缶等を道路に放置する

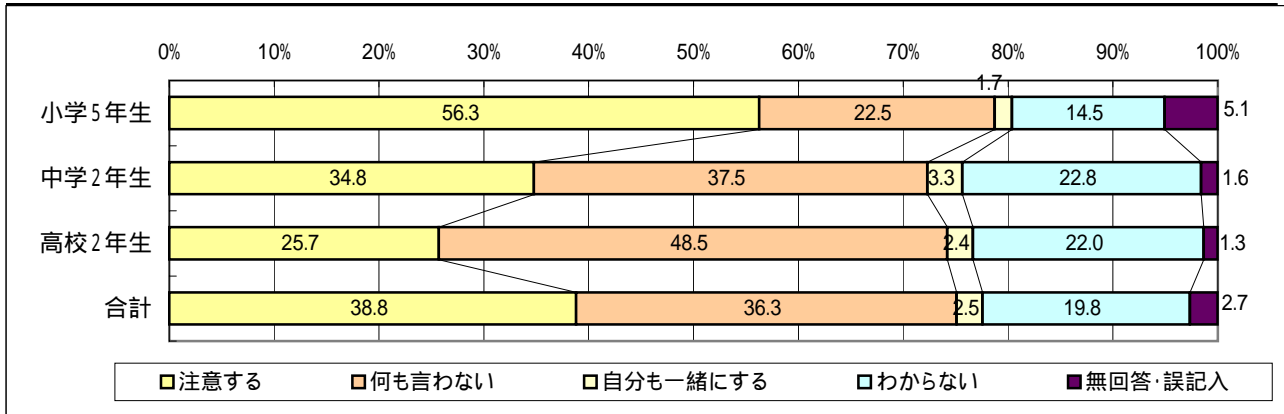


電車の通路や道路にべた座りする

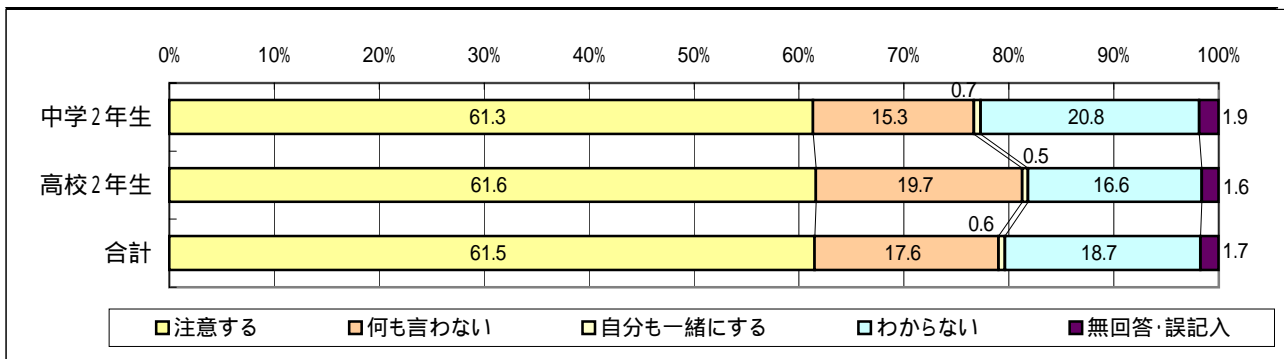


規範意識

電車やバスでお年寄りに席をゆずらない

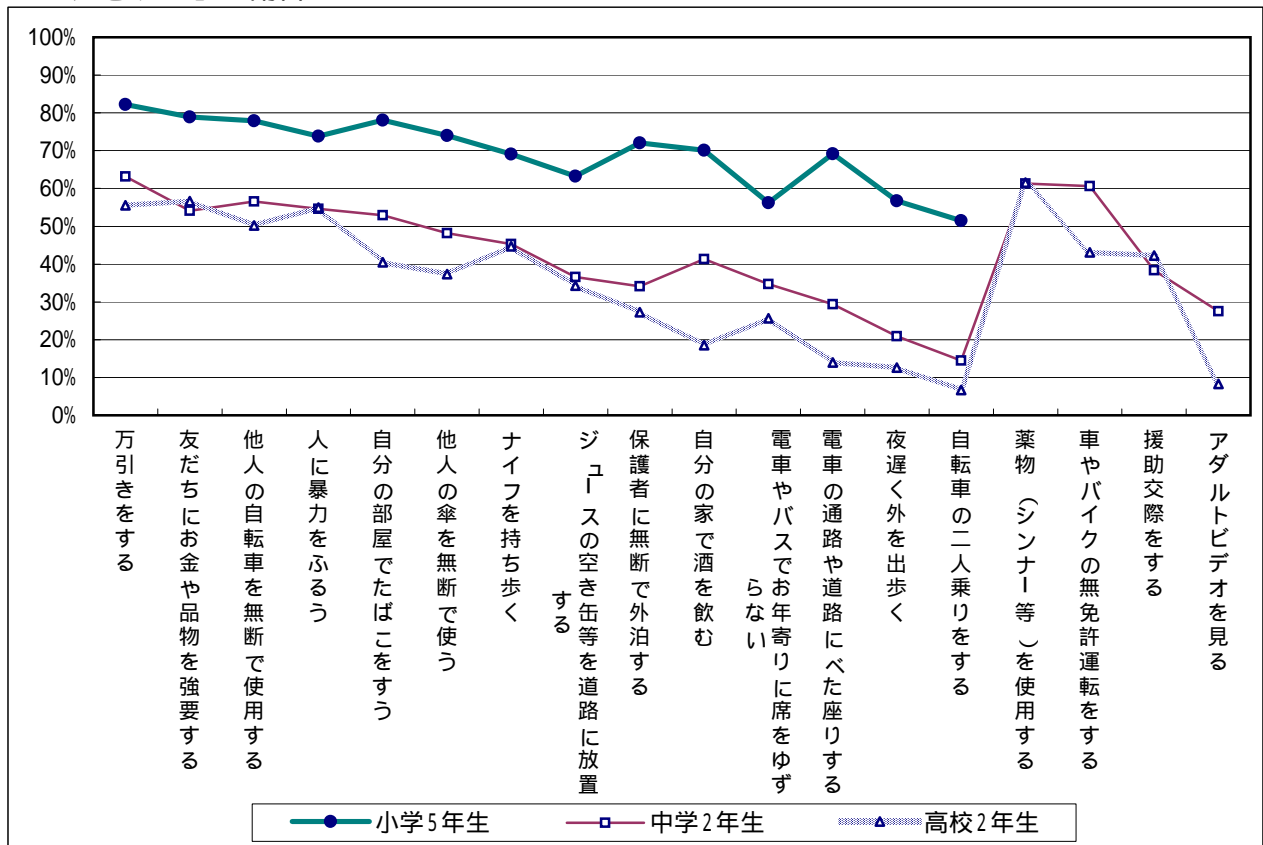


薬物(シンナー等)を使用する(小学5年生は除く)

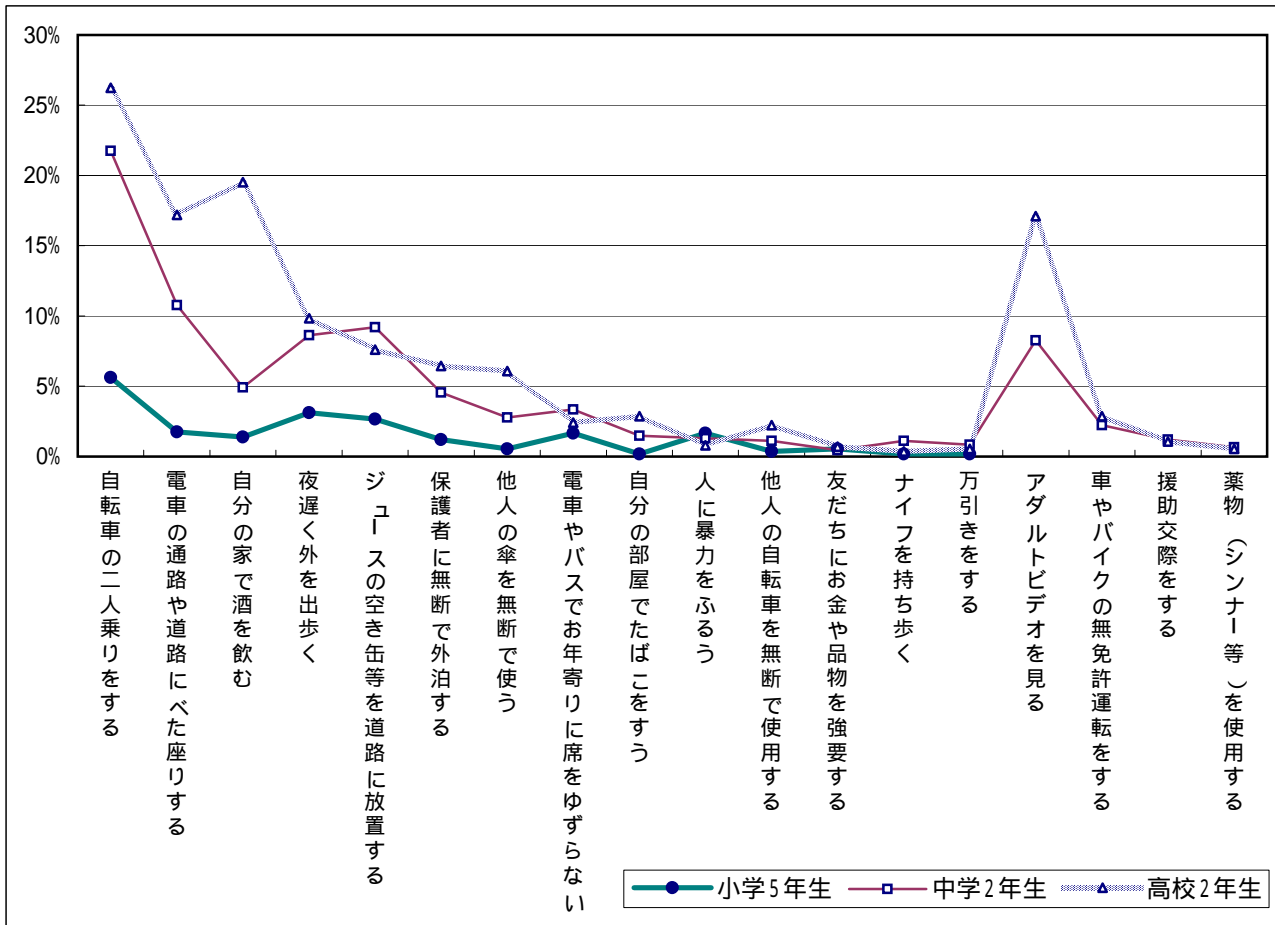


全体的傾向

「注意する」の割合



「自分も一緒にする」の割合



「注意する」と回答した割合は高い方から、「万引きをする」、「友だちにお金や品物を強要する」、「他人の自転車を無断で使用する」、「薬物を使用する」の順となっている。中・高生に限ると、「薬物(シンナー等)を使用する」が最も高い。小学5年生と高校2年生で比較すると、「電車の通路や道路にべた座りする」で55.2ポイント(小学5年生69.2%,高校2年生14.0%),「自分の家で酒を飲む」で53.6ポイント(小学5年生70.1%,高校2年生18.5%)の大きな開きがある。18項目中14項目で、学年が上がるにつれて「注意する」という回答は減少し、逆に「自分も一緒にする」は増加している。小学生の規範意識の高さがわかる。

「自分も一緒にする」と回答した割合が高かったのは、「自転車の二人乗りをする」、「アダルトビデオをみる」、「電車の通路や道路にべた座りする」、「ジュースの空き缶等を道路に放置する」などである。ここでも小学生は健全な規範意識をもっていることがわかる。

「注意する」より「自分も一緒にする」の割合が高いのは中学2年生の「自転車の二人乗りをする」と、高校2年生の「自転車の二人乗りをする」、「自分の家で酒を飲む」、「アダルトビデオをみる」、「電車の通路や道路にべた座りする」の4項目である。